

平成23年度 事務事業点検シート

事務事業名		文化行政一般事務事業		新規/継続	継続事業	整理番号	2005001	
				分割/統合				
関連 予算 科目	会計	一般会計		事業の分割/ 統合の内容				
	款	総務費		事業所管課	文化芸術部文化振興課			
	項	総務管理費		連絡先	(078)918-5607			
	目	文化振興・国際交流費		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 18 年度	
	事業	文化行政推進事業		根拠法令 ・要綱等	明石市事務分掌条例、明石市事務分掌規則			
第5次長総の 戦略の柱 展開の方向				実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理			
個別計画								

事業 の 目的	対象（誰を・何を）	文化行政の一般管理事務及び市職員	
	意図（どういう状態にしたいのか）	文化行政の一般管理事務を円滑に行う。	

事業 内 容	<平成20年度>	文化行政の一般管理事務を行う。	
	<平成21年度>	文化行政の一般管理事務を行う。	
	<平成22年度>	文化行政の一般管理事務を行う。	
	<平成23年度>	文化行政の一般管理事務を行う。	
	<平成23年度>	文化行政の一般管理事務を行う。	
	<平成23年度>	文化行政の一般管理事務を行う。	

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				23年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	0.82	アルバイト	0.00
21決算	977	4,500	5,477	0	0	0	5,477	再任用	0.00	その他	0.00
22決算	761	5,130	5,891	0	0	0	5,891	任期付	0.05	合計	0.87
23当初予算	1,068	7,100	8,168	0	0	0	8,168				

2 2 年 度 決 算 事 業 費 明 細	区分(節)	内容	金額	2 3 年 度 当 初 予 算 事 業 費 明 細	区分(節)	内容	金額
	報償費		感謝状筆耕謝礼		3	旅費	近接地旅費等
旅費		近接地旅費等	31	需用費	事務用品、コピー用紙等	412	
需用費		事務用品、コピー用紙等	426	使用料及び賃借料	コピー使用料等	459	
役務費		感謝状筆耕料	7	負担金補助及び交付金	講座参加負担金	10	
使用料及び賃借料		コピー使用料等	294				
合計			761	合計			1,068

整理番号	2005001	事務事業名	文化行政一般事務事業
------	---------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	21年度	22年度	23年度見込み
	指標で表せない成果					

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	高い	市が主体的に行う必要性は高い。
	有効性	高い	一般管理事務を円滑に行っている。
	効率性	高い	最低限の人員で効率的に事務を行っていると思われる。
評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明
	事業の規模	維持	
	手法の改善	維持	
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止      手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止		
	今後の事業展開方針		
	引き続き、効果的な事務推進に努める。		
	平成24年度の具体的改善内容（事業費増減要因等）	24年度予算事業費増減見込（千円）	
	対23年度当初予算比	合計	財源内訳
			国・県支出金    地方債    その他特定財源    一般財源
	削減見込	0	0    0    0    0
	増加見込	0	0    0    0    0
	差引 +	0	0    0    0    0

「平成24年度の具体的改善内容」「24年度予算事業費増減見込」は、平成23年8月末時点の見込みであり今後変更があり得ます。

平成23年度 事務事業点検シート

事務事業名		文化芸術創生基本計画推進事業	新規/継続	継続事業	整理番号	2005002	
			分割/統合				
			事業の分割/統合の内容				
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課	文化芸術部文化振興課			
	款	総務費	連絡先	(078)918-5607			
	項	総務管理費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 19 年度	
	目	文化振興・国際交流費	根拠法令・要綱等	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例			
事業	文化行政推進事業	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理				
第5次長総の戦略の柱展開の方向	3 明石らしい生活文化を育てる 3-2 スポーツや文化芸術、歴史に親しめる環境をつくる						
個別計画	明石文化芸術創生基本計画						

事業の目的	対象（誰を・何を）	市民
	意図（どういう状態にしたいのか）	市民が文化芸術を鑑賞し、参加し、創造活動に取り組み、文化芸術活動が盛んになるための基盤をつくる。

事業内容	<平成21年度>	明石文化芸術創生条例に基づき、文化芸術の振興に関する基本計画の策定に向け創生会議等を設置 明石文化芸術創生会議（学識経験者2名、団体関係者6人、公募市民2人、計10人）を2回開催。 明石文化芸術創生会議基本計画部会（臨時委員：学識経験者1人、団体関係者8人、公募市民2人、計11人）を4回開催。このうち、第2回については、「次代を担う若い人たちによる文化芸術ワークショップ」を兼ねて開催。 ・文化芸術に関する明石市民アンケート調査を実施（市民3,000人を無作為抽出。有効回答数957人）。
	<平成22年度>	明石文化芸術創生会議を3回開催。 明石文化芸術創生会議基本計画部会を3回開催。 11月に生活文化常任委員会へ基本計画（案）について中間報告 9月、12月に文化団体との意見交換会を2回開催。 12月 パブリックコメントの実施 2月 創生会議から市長へ基本計画（案）について答申 3月 生活文化常任委員会に市の基本計画について報告
	<平成23年度>	明石文化芸術創生会議を3回開催予定。 実施計画の作成。 基本計画及び実施計画の進捗管理、公表。 中間支援組織の検討。

事業のコスト （単位：千円）	事業費	人件費 （参考値）	総事業費 （参考値）	財源内訳				23年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	0.62	アルバイト	0.00
21決算	1,915	5,400	7,315	0	0	0	7,315	再任用	0.00	その他	0.00
22決算	2,371	4,410	6,781	0	0	0	6,781	任期付	0.00	合計	0.62
23当初予算	1,883	5,270	7,153	0	0	0	7,153				

区分（節）	内容	金額	区分（節）	内容	金額	
						報酬
旅費	出張依頼旅費	150	3	報償費	指導・助言謝礼	23
需用費	基本計画冊子印刷代等	528		需用費	用紙代等	58
役務費	文化芸術創生会議音声反訳	184		役務費	文化芸術創生会議等音声反訳	224
委託料	共同研究委託	1,000		委託料	共同研究委託	1,000
使用料及び賃借料	会議室使用料	24		その他	旅費、会議室使用料	84
合計		2,371	合計		1,883	

整理番号	2005002	事務事業名	文化芸術創生基本計画推進事業
------	---------	-------	----------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	21年度	22年度	23年度見込み
	指標で表せない成果					
	明石文化芸術創生基本計画に基づく、実施計画を作成し、文化の息づくまちづくりを推進するために具体的な事業を展開している。					

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	高い	3月に策定した明石文化芸術創生基本計画に基づき、年度ごとに実施計画を作成し、事業を展開していく。また、明石文化芸術創生会議では基本計画の進捗状況の評価検証を行いながら計画を推進していくため、この事業の必要性は高い。
	有効性	高い	必要性は高く、基本計画を推進していくための有効性は高いと認められる。
	効率性	高い	必要性、有効性ともに高く、共同研究委託先との連携・役割分担を図り、効率的に事業を推進している。
評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明
	事業の規模	維持	基本計画推進のための具体的施策を実施していく。
	手法の改善	軽微な改善	経費節減に努める一方、実施計画に基づく年度ごとの重点的に取り組む施策については、予算化を図っていく。
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止      手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止		
	今後の事業展開方針		
	今後、明石文化芸術創生基本計画、実施計画に基づき、施策を展開する。本事業では、創生会議の運営、イベント以外の文化行政推進施策を実施する。		
	平成24年度の具体的改善内容（事業費増減要因等）		24年度予算事業費増減見込（千円）
神戸大学大学院との研究委託料の減(1,000) 基本計画、実施計画の進捗管理等アドバイザー謝礼の増(400) アートマネジメント養成講座会場使用料、講師謝礼の増(120) アートフルウィーク開催経費の増(1,400)	対23年度当初予算比	合計	財源内訳
			国・県支出金    地方債    その他特定財源    一般財源
	削減見込	-1,000	0    0    0    -1,000
	増加見込	1,920	0    0    0    1,920
差引 +	920	0    0    0    920	

「平成24年度の具体的改善内容」「24年度予算事業費増減見込」は、平成23年8月末時点の見込みであり今後変更があり得ます。



整理番号	2005003	事務事業名	芸術祭等開催事業
------	---------	-------	----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	21年度	22年度	23年度見込み
	指標で表せない成果					
	芸術祭をより充実させることによって市民の芸術にふれる機会をふやし、市民の生活に潤いをあたえている。					

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	やや高い	・「明石文化芸術創生基本計画」において、「各種市民参加型事業の推進」を重点施策として掲げている。・芸術祭を開催することにより、各文化団体の日頃の活動の発表の場を提供することができるのと同時に参加や鑑賞することで文化意識の向上をはかることができる。また、市民に質の高い文化に触れる機会を提供することができる。
	有効性	やや高い	各部門の文化活動の成果の発表の場を芸術祭という事業の冠の中で開催することにより、市民の芸術についての関心呼び興し、芸術にふれたり参加する機会を広げている。
	効率性	やや高い	・明石市文化団体連合会に委託しており、文化団体の相互の交流をはかるとともに、事業費を精査しながら限られた予算範囲の中で効果をあげ運営している。
評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明				
	事業の規模	維持	必要性、有効性はやや高いと評価する。ただし、入場者数に合わせて会場の変更も検討する。				
	手法の改善	軽微な改善	・茶会、いけばな展について「こども体験教室」を設け、参加者の増加を図るとともに、「明石ステージアート」「邦舞・邦楽のつどい」については舞台構成や集客方法について検討する。・入場料を徴収して開催していた「吹奏楽祭」を芸術祭から外し、別途委託していた「吹奏楽の夕べ」開催事業を統合する。				
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止      手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止						
	今後の事業展開方針						
	こども体験教室やこどもの舞台出演の場を設け、こどもたちの文化芸術への参加・体験活動を促進し文化の継承につなげるとともに参加者の拡大を図る。						
平成24年度の具体的改善内容（事業費増減要因等）		24年度予算事業費増減見込（千円）					
		対23年度当初予算比	合計	財源内訳			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源
		削減見込	0	0	0	0	0
		増加見込	0	0	0	0	0
		差引 +	0	0	0	0	

「平成24年度の具体的改善内容」「24年度予算事業費増減見込」は、平成23年8月末時点の見込みであり今後変更があり得ます。





整理番号	2005004	事務事業名	文芸祭開催事業
------	---------	-------	---------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	21年度	22年度	23年度見込み
	応募件数	作品の応募件数(一般・ジュニア含む)	件	2421	3549	3,550
<b>指標で表せない成果</b>						
文芸祭の実施により、市民及び子供たちの文芸に対する関心と認識を深め文芸作品の市民の文化意識の一層の向上をはかる。一般については日頃の発表の場となる。						

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	やや高い	・明石文化芸術創生基本計画において、「各種市民参加型事業の推進」を重点施策として掲げている。・文化の息づく街づくりの一環として文芸に対する関心を深め創作づくりのきっかけづくりとなっている。
	有効性	やや高い	・七つの部門の創作発表の場とすることで、文芸の関心を広め、新たな部門の創作活動のきっかけづくりとなっている。・平成22年度は21年度に比べ応募件数が増え、成果が上がっている。
	効率性	やや高い	事業費を精査しており、予算範囲の中で効果を上げるよう改善を図っている。
評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明
	事業の規模	維持	・必要性が高く、当事業はおおむね現状どおりの規模で継続していく。
	手法の改善	軽微な改善	・入賞入選作品のほか、入賞入選をのがした作品の中から“選外佳作”を設け、多くの作品を冊子「ことのはものがたり」に掲載し、より多くの作品応募の増加を図るなど改善を図る。
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止      手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止		
<b>今後の事業展開方針</b>			
応募要項、広報の見直しを図るとともに、ジュニア部門への応募の増加につながるよう入賞入選以外の優れた作品についても講評するとともに市内小・中学校すべてに「ことのはものがたり」を配布する。			
平成24年度の具体的改善内容（事業費増減要因等）		24年度予算事業費増減見込（千円）	
	対23年度当初予算比	合計	財源内訳
	削減見込	0	国・県支出金   0   地方債   0   その他特定財源   0   一般財源   0
	増加見込	0	0   0   0   0   0
	差引 +	0	0   0   0   0   0

「平成24年度の具体的改善内容」「24年度予算事業費増減見込」は、平成23年8月末時点の見込みであり今後変更があり得ます。



## 平成23年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	街角イベント推進事業		新規/継続	継続事業	整理番号	2005005	
			分割/統合				
<b>関連予算科目</b>	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容				
	款	総務費					
	項	総務管理費					
	目	文化振興・国際交流費					
	事業	文化芸術振興事業					
第5次長総の戦略の柱展開の方向			事業所管課	文化芸術部文化振興課			
3 明石らしい生活文化を育てる			連絡先	(078)918-5607			
3-2 スポーツや文化芸術、歴史に親しめる環境をつくる			自治/法定	自治事務	開始年度	平成 15 年度	
個別計画			文化芸術創生基本計画	根拠法令・要綱等	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例		
			実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理			

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	市民
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	音楽の活動をするグループや個人に発表の場を提供するとともに、市民が身近な場所で音楽に触れ親しむ機会を提供する。また、賑わいのあるまちづくりにも資する。

<b>事業内容</b>	明石コミュニティー創造協会への委託により事業を実施している。	
	<平成21年度>	あかしふれあいコンサート……毎月1回、アスピア明石アトリウムコートやマイカル明石2番街海の広場等で開催。 タコタコジャズフェスティバル2009……9月23日(水・祝) 生涯学習センターホールやアスピア明石アトリウムコート等で開催。 まちかどミュージシャンスペシャルライブ……3月に明石駅周辺の各店舗などで、あかしまちかどミュージシャン出演の演奏会を開催し、メイン会場(銀座通り歩行者天国)であかしまちかどミュージシャン出演のイベントを開催。
	<平成22年度>	あかしふれあいコンサート……毎月1回、アスピア明石アトリウムコートやマイカル明石2番街海の広場等で開催 タコタコジャズフェスティバル2010……10月3日に明石公園の組立て式能舞台や魚の棚商店街内などで開催。 まちかどミュージシャンスペシャルライブ……3月にあかしまちかどミュージシャン出演の演奏会を開催し、メイン会場であかしまちかどミュージシャン出演のイベントを開催予定。
	<平成23年度>	ホール以外の市民に身近な場所で音楽の鑑賞機会を提供する「あかしふれあいコンサート」や「タコタコジャズフェスティバル」などの街角イベントを開催。また、地域のまつりやイベントなどへ「まちかどミュージシャン登録紹介制度」に登録した者を紹介する。 あかしふれあいコンサート……毎月1回、アスピア明石アトリウムコートやマイカル明石2番街海の広場等で開催予定。 タコタコジャズフェスティバル2011……9月23日に子午線ホールなどで開催予定。 明石音楽祭……9月18日にグリーンヒルホテル明石であかしまちかどミュージシャン出演の演奏会を開催予定。

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				23年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	アルバイト	再任用	その他
21決算	1,940	990	2,930	0	0	0	2,930	0.04	0.00	0.00	0.00
22決算	1,924	90	2,014	0	0	0	2,014	0.00	0.00	0.00	0.00
23当初予算	2,000	340	2,340	0	0	0	2,340	0.00	0.00	0.00	0.04

22年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	23年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	委託料	街角イベント開催委託	1,924			委託料	街角イベント開催委託
	合計		1,924		合計		2,000

整理番号	2005005	事務事業名	街角イベント推進事業			
------	---------	-------	------------	--	--	--

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	21年度	22年度	23年度見込み
	指標で表せない成果					
ホール施設以外のまちかど等で市民が気軽に音楽に触れ親しむ機会を提供できている。また、芸術活動を行おうとする市民に発表の場を提供している。						

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	やや高い	明石文化芸術創生基本計画において身近な施設や市以外の施設を利用して、市民誰もが文化芸術に出会い関わることのできる機会の創出を掲げている。また、市民生活に密着した場所でのコンサートは賑わいのあるまちづくりに資する。
	有効性	やや高い	市民生活に密着した場所で、市民が気軽に楽しめるコンサートを鑑賞する機会や芸術活動の発表の場を提供している。
	効率性	やや高い	出演者がボランティアで協力をしていただいている部分が多く安価で実施できている。たこたこジャズフェスティバルなど大きなイベントでは実行委員会を立ち上げ、市民との協働による運営を行っている。
評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明				
	事業の規模	維持	有効性、効率性ともに高く、概ね現状規模で行っていく必要がある。				
	手法の改善	軽微な改善	基本計画に掲げる「さらなる発表の場及び機会の充実」を図るため、新たな鑑賞・発表の場を検討していく必要がある。				
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止      手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止						
	今後の事業展開方針						
	新たな鑑賞・発表の場を開拓していく。						
	平成24年度の具体的改善内容（事業費増減要因等）		24年度予算事業費増減見込（千円）				
		対23年度当初予算比	合計	財源内訳			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源
		削減見込	0	0	0	0	0
		増加見込	0	0	0	0	0
差引 +		0	0	0	0	0	

「平成24年度の具体的改善内容」「24年度予算事業費増減見込」は、平成23年8月末時点の見込みであり今後変更があり得ます。

平成23年度 事務事業点検シート

事務事業名		文化芸術こどもクラブ開催事業	新規/継続	継続事業	整理番号	2005006	
			分割/統合				
関連 予算 科目	会計	一般会計	事業の分割/ 統合の内容				
	款	総務費	事業所管課	文化芸術部文化振興課			
	項	総務管理費	連絡先	(078)918-5607			
	目	文化振興・国際交流費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 22 年度	
	事業	文化芸術振興事業	根拠法令 ・要綱等	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例			
第5次長総の 戦略の柱 展開の方向	3 明石らしい生活文化を育てる 3-2 スポーツや文化芸術、歴史に親しめる環境をつくる		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成	<input type="checkbox"/> その他	
個別計画	文化芸術創生基本計画			<input type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 指定管理		

事業 の 目的	対象（誰を・何を）	子ども
	意図（どういう状態にしたいのか）	次代を担う子どもたちが文化芸術に対する関心や理解を深め、豊かな人間性を育むことを目的とする。

事業 内容	参加対象者：小学生から高校生まで(原則) 対象団体：社団、財団、NPO法人など 年度内に初心者5人以上含む10人以上の参加者で10回以上の活動を市内の公的施設で開催することを原則とする。
	<p>&lt;平成22年度&gt; 邦楽、邦舞、美術、生活文化、ダンス等の対象分野の文化芸術こどもクラブの開催について、募集の結果、茶道、ダンス、三味線、詩吟、箏とヴァイオリンのアンサンブル、絵画の7団体に対し助成を決定し、文化芸術こどもクラブを開催した。小学生から高校生までの初心者を含む約200名が参加した。</p> <p>&lt;平成23年度&gt; 邦楽、邦舞、美術、生活文化、ダンス等の対象分野の文化芸術こどもクラブの開催について、上限を定め助成を行う。</p>

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				23年度人員配置(人)		
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	アルバイト	その他
21決算	0	0	0	0	0	0	0	0.47	0.00	0.00
22決算	1,968	3,060	5,028	0	0	0	5,028	0.00	0.00	0.00
23当初予算	2,540	3,995	6,535	0	0	0	6,535	0.00	0.00	0.47

22年度 決算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額	23年度 当初 予算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額
		負担金補助及び交付金	文化芸術こどもクラブ開催事業補助金		1,968		報償費
					需用費	募集要項用色紙代	10
					使用料及び賃借料	会場使用料	10
					負担金補助及び交付金	文化芸術こどもクラブ開催事業補助金	2,500
	合計		1,968		合計		2,540

整理番号	2005006	事務事業名	文化芸術こどもクラブ開催事業
------	---------	-------	----------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	21年度	22年度	23年度見込み
	子どもの参加人数	こどもクラブに参加申込みした人数	人	-	176	100
<b>指標で表せない成果</b>						
こどもたちの文化芸術活動の参加・体験活動の場を提供している。						

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	高い	文化団体等が自発的に子どもの文化芸術活動の支援を行うしくみづくり、子どもたちの文化芸術活動の促進を図るうえで、市が行う必要性は高い。
	有効性	やや高い	この事業は、文化庁からの助成制度と比べて、対象範囲が広いこと、一部補助金の前払いが出来るなど実施する団体が利用しやすい制度となっており、こどもたちが文化芸術に親しむ機会を拡充するために、有効なもの認められる。
	効率性	やや高い	今年度から助成制度の内容を見直し、自らが指導できる講師が主催する団体に実施してもらうことにより、助成金の中で大きな割合を占める謝金を助成対象外とした。このことにより、限られた補助金の中で、少しでも多くの様々な団体にこどもたちの体験教室を開催してもらえるようにした。
評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明				
	事業の規模	維持	必要性の高さから来年度も今年度と同等の事業規模を維持すべきである。				
	手法の改善	軽微な改善	文化庁助成事業との住み分けの整理、文化団体が利用しやすい仕組みの調整など行っていく必要がある。				
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止      手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止						
<b>今後の事業展開方針</b>							
今年新しく創設された文化庁助成事業が、見切り発進的な部分が多く、今後、多くの見直しが見込まれる。この文化庁助成事業との整理、文化団体が利用しやすい制度運営の改善を検討していく必要がある。							
平成24年度の具体的改善内容（事業費増減要因等）		24年度予算事業費増減見込（千円）					
		対23年度 当初予算 比	合計	財源内訳			
				国・県 支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源
		削減見込	0	0	0	0	0
		増加見込	0	0	0	0	0
		差引 +	0	0	0	0	

「平成24年度の具体的改善内容」「24年度予算事業費増減見込」は、平成23年8月末時点の見込みであり今後変更があり得ます。



整理番号	2005007	事務事業名	自動演奏ピアノ運用・美術品展示事業
------	---------	-------	-------------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	21年度	22年度	23年度見込み
	実施回数	自動演奏ピアノ運用回数(ランチタイムミュージック開催回数)		回	19	20
指標で表せない成果						

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	低い	・ピアノ運用は、平成18年以来、同フロアで行っている市民相談課の相談業務のない昼休みに、市民からの利用希望を受け付けて運用してきたところである。しかしながら相談件数の増加に伴い、毎日相談業務を行うようになり、昼休みについても相談の問い合わせが多くなってきている。そのため演奏音で業務に支障が出ているとの声があり、平成23年度においては休止中である。 ・美術品の展示については、市民フロアで美術鑑賞の機会を提供しているが、文化博物館収蔵の美術品借用については展示環境が整わないため借用ができず、本物の美術鑑賞とはいえない。
	有効性	低い	・ピアノを使用時には、曲目の制限をかける必要があり、低いと判断。・美術品については“市美術展優秀作品”を展示しているが低いと判断。
	効率性	低い	・費用をかけないで運用を続けていたが、継続が困難。
評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明
	事業の規模	休廃止	事業の必要性・有効性・効率性が低く、実施しなければならない事業であるとはいえない。
	手法の改善	休廃止	事業の必要性・有効性・効率性が低く、実施しなければならない事業であるとはいえない。
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止      手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止		
今後の事業展開方針			
平成23年度限りで事業を廃止する。			
平成24年度の具体的改善内容（事業費増減要因等）		24年度予算事業費増減見込（千円）	
事業の廃止	対23年度当初予算比	合計	財源内訳
	削減見込	-188	国・県支出金    0    地方債    0    その他特定財源    0    一般財源    -188
	増加見込	0	0    0    0    0    0
	差引 +	-188	0    0    0    0    -188

「平成24年度の具体的改善内容」「24年度予算事業費増減見込」は、平成23年8月末時点の見込みであり今後変更があり得ます。



## 平成23年度 事務事業点検シート

事務事業名		市民交響楽団支援事業		新規/継続	継続事業	整理番号	2005008	
				分割/統合				
関連 予算 科目	会計	一般会計		事業の分割/ 統合の内容				
	款	総務費		事業所管課	文化芸術部文化振興課			
	項	総務管理費		連絡先	(078)918-5607			
	目	文化振興・国際交流費		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 18 年度	
	事業	文化芸術振興事業		根拠法令 ・要綱等	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例			
第5次長総の 戦略の柱 展開の方向		3 明石らしい生活文化を育てる 3-2 スポーツや文化芸術、歴史に親しめる環境をつくる		実施方法		<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理		
個別計画		文化芸術創生基本計画						

事業の 目的	対象（誰を・何を）	
	市民	
意図（どういう状態にしたいのか）		音楽文化のすそ野の拡大と質の向上を図るため、市民力を活用したアマチュアの市民交響楽団の運営に対する支援を行い、「音楽のあふれるまちづくり」を一層推進する。

事業 内容	<平成21年度>
	7月5日(日) スウェーデンのヴァイオリニストを迎え特別演奏会を市民会館大ホールで開催。 9月6日(日) 第6回定期演奏会を市民会館大ホールで開催。 11月1日(日) 市制施行90周年記念式典の祝賀演奏会で演奏。 12月20日(日) 第27回明石第九演奏会で演奏。また、明石フィルハーモニー・ジュニア・オーケストラが同演奏会でデビュー。 3月28日(日) 第7回定期演奏会を市民会館大ホールで開催。 ・アウトリーチ活動18回
	<平成22年度>
	7月11日(日) 明石フィルハーモニー・ジュニア・オーケストラ演奏会を西部市民会館ホールで開催。 9月12日(日) 第8回定期演奏会を市民会館大ホールで開催。 3月20日(日) 第9回定期演奏会を市民会館大ホールで開催。 ・アウトリーチ活動18回
	<平成23年度>
	7月10日(日) 明石フィルハーモニー・ジュニア・オーケストラ演奏会を西部市民会館ホールで開催。 9月11日(日) 第10回定期演奏会を市民会館大ホールで開催(予定)。 12月18日(日) 第29回明石第九演奏会で演奏(予定)。 3月25日(日) 第11回定期演奏会を市民会館大ホールで開催(予定)。 ・アウトリーチ活動(予定)。

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				23年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	0.04	アルバイト	0.00
21決算	8,300	990	9,290	0	0	0	9,290	再任用	0.00	その他	0.00
22決算	7,000	990	7,990	0	0	0	7,990	任期付	0.00	合計	0.04
23当初予算	7,000	340	7,340	0	0	0	7,340				

22年度 決算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額	23年度 当初 予算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額
	委託料	演奏会開催委託	3,000			負担金補助及 び交付金	運営補助
負担金補助及 び交付金	運営補助	4,000					
	合計		7,000		合計		7,000



整理番号	2005008	事務事業名	市民交響楽団支援事業
------	---------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	21年度	22年度	23年度見込み
	アウトリーチ活動の回数	定期演奏会のほかに市民にどれだけ鑑賞の機会を提供できているか。	回	18	18	20
	指標で表せない成果					

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	やや高い	市民交響楽団設立、ジュニアオーケストラの設立により、音楽文化のすそ野の拡大、市民の芸術鑑賞の機会の拡充が図られ市が運営を支援する必要性は、やや高いと認められる。
	有効性	やや高い	必要性がやや高く、音楽文化のすそ野の拡大や市民の芸術鑑賞の機会の拡充が図られ、有効なものと認められる。
	効率性	やや低い	補助金を段階的に削減しているものの、演奏会の開催のほかにジュニアオーケストラの設立・運営、アウトリーチ活動も積極的に行っている。 必要性、有効性ともにやや高いものの、市の支援負担額は大きく、さらなる経費の節減に努め、効率的な運営を行う必要がある。
評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明				
	事業の規模	維持	引き続き、効率的な運営を実施してもらう。				
	手法の改善	軽微な改善	市民交響楽団の主体的な運営となるよう運営の在り方を検討していく必要がある。				
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止      手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止						
	今後の事業展開方針						
今後も財政面を主として支えていく。ただし、運営については、主体的に運営していくよう楽団に対して促していく。							
平成24年度の具体的改善内容（事業費増減要因等）		24年度予算事業費増減見込（千円）					
		対23年度当初予算比	合計	財源内訳			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源
		削減見込	0	0	0	0	0
		増加見込	0	0	0	0	0
差引 +		0	0	0	0	0	

「平成24年度の具体的改善内容」「24年度予算事業費増減見込」は、平成23年8月末時点の見込みであり今後変更があり得ます。

平成23年度 事務事業点検シート

事務事業名		明石将棋フェスティバル開催事業	新規/継続	継続事業	整理番号	2005009	
			分割/統合				
			事業の分割/統合の内容				
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課	文化芸術部文化振興課			
	款	総務費	連絡先	(078)918-5607			
	項	総務管理費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 17 年度	
	目	文化振興・国際交流費	根拠法令・要綱等	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例			
事業	文化芸術振興事業	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理				
第5次長総の戦略の柱展開の方向	3 明石らしい生活文化を育てる 3-2 スポーツや文化芸術、歴史に親しめる環境をつくる						
個別計画	文化芸術創生基本計画						

事業の目的	対象（誰を・何を）	市民
	意図（どういう状態にしたいのか）	伝統文化である将棋に親しむとともに、豊かな人間性を身につける機会を提供する。

事業内容	<平成20年度>	小・中学生を対象とする子ども将棋大会や指導対局、大盤解説、講演会等を開催。 1月25日(日)生涯学習センターで開催。
	<平成21年度>	小・中学生を対象とする子ども将棋大会や指導対局、大盤解説、講演会等を開催。 1月31日(日)生涯学習センターで開催。
	<平成22年度>	小・中学生を対象とする子ども将棋大会や指導対局、大盤解説、講演会等を開催。 2月5日(土)生涯学習センターで開催。
	<平成23年度>	小・中学生を対象とする子ども将棋大会や指導対局、大盤解説等を開催予定。 2月4日(土)・5日(日)生涯学習センターで開催予定。

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				23年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	アルバイト	再任用	その他
21決算	1,172	2,970	4,142	0	0	0	4,142	0.45	0.00	0.00	0.00
22決算	1,243	2,970	4,213	0	0	0	4,213	0.00	0.00	0.00	0.00
23当初予算	1,171	4,345	5,516	0	0	0	5,516	0.20	0.00	0.00	0.65

22年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	23年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報償費	司会謝礼、いけばな謝礼	43			23年度当初予算事業費明細	役員費
需用費	展示用品代	13			委託料	将棋フェスティバル開催委託	1,100
役員費	ホール舞台人件費	47					
委託料	将棋フェスティバル開催委託	1,050					
使用料及び賃借料	会場使用料	90					
	合計		1,243		合計		1,171

整理番号	2005009	事務事業名	明石将棋フェスティバル開催事業			
------	---------	-------	-----------------	--	--	--

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	21年度	22年度	23年度見込み
	参加申込み	参加申込み人数	人	315	315	450
	指標で表せない成果					

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	やや高い	・「明石文化芸術創生基本計画」において、「各種市民参加型事業の推進」を重点施策としてあげている。・将棋を通じ、社会の基本的ルールや思いやり、礼儀を学び、次代を担う子供の育成であるとともに伝統文化に触れる機会を提供している。
	有効性	やや高い	将棋を始めて日が浅い子どもから将棋に詳しい大人まで楽しめるプログラム内容が豊富で市民が将棋に親しむ機会を提供している。
	効率性	やや高い	豊富なプログラムを将棋連盟と連携・協力をはかりながら安価で開催を重ねている。
評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明								
	事業の規模	拡充	こども将棋大会やプロ棋士による指導対局の参加者が毎年定員を上回っており、これまでの1日から2日間の開催にし、さらにプログラム内容を充実させる。								
	手法の改善	軽微な改善	さらなる参加者の増大を図るため、「親子将棋入門教室」を行う。								
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止      手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止										
今後の事業展開方針											
さらに内容の充実をはかり、検討を重ねていく。あわせて「親子将棋入門教室」を実施し、将棋に親しむ機会を広げ、将棋フェスティバル参加増大へつなげるとともにこどもの育成に役立てる。											
平成24年度の具体的改善内容（事業費増減要因等）		24年度予算事業費増減見込（千円）									
「親子将棋入門教室」実施のため。		対23年度当初予算比	合計	財源内訳							
		削減見込	0	国・県支出金	0	地方債	0	その他特定財源	0	一般財源	0
		増加見込	200	0	0	0	0	200			
		差引 +	200	0	0	0	0	200			

「平成24年度の具体的改善内容」「24年度予算事業費増減見込」は、平成23年8月末時点の見込みであり今後変更があり得ます。

平成23年度 事務事業点検シート

事務事業名		明石の春を詠む吟行俳句会開催事業	新規/継続	継続事業	整理番号	2005010	
			分割/統合				
			事業の分割/統合の内容				
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課	文化芸術部文化振興課			
	款	総務費	連絡先	(078)918-5607			
	項	総務管理費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 18 年度	
	目	文化振興・国際交流費	根拠法令・要綱等	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例			
	事業	文化芸術振興事業	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 補助・助成	<input type="checkbox"/> その他	
第5次長総の戦略の柱展開の方向	3 明石らしい生活文化を育てる 3-2 スポーツや文化芸術、歴史に親しめる環境をつくる		<input checked="" type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 指定管理			
個別計画	文化芸術創生基本計画						

事業の目的	対象（誰を・何を）	市民
	意図（どういう状態にしたいのか）	明石のまちを散策し俳句に親しむ機会を提供するとともに、賑わいのあるまちづくりに資する。

事業内容	<平成20年度>	春が訪れた明石のまちを散策し、明石の春を詠んでいただく吟行俳句会を春句祭の時期にあわせて開催。 3月7日(土) 生涯学習センターホールで開催。
	<平成21年度>	春が訪れた明石のまちを散策し、明石の春を詠んでいただく吟行俳句会を春句祭の時期にあわせて開催。 3月6日(土) 生涯学習センターホールで開催。
	<平成22年度>	春が訪れた明石のまちを散策し、明石の春を詠んでいただく吟行俳句会を春句祭の時期にあわせて開催。 3月5日(土) 市民会館中ホールで開催。
	<平成23年度>	春が訪れた明石のまちを散策し、明石の春を詠んでいただく吟行俳句会を春句祭の時期にあわせて開催。 3月3日(土) 市民会館中ホールで開催(予定)。

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				23年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	アルバイト	再任用	その他
21決算	483	1,890	2,373	0	0	0	2,373	0.60	0.00	0.00	0.00
22決算	574	3,600	4,174	0	0	0	4,174	0.00	0.00	0.00	0.00
23当初予算	495	5,438	5,933	0	0	0	5,933	0.13	0.00	0.00	0.73

区分(節)	内容	金額	23年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
報償費	司会謝礼	30		委託料	吟行俳句会開催委託	400
需用費	チラシ印刷代	50		使用料及び賃借料	会場使用料	95
委託料	吟行俳句会開催委託、警備委託	416				
使用料及び賃借料	会場使用料	78				
合計		574		合計		495

整理番号	2005010	事務事業名	明石の春を詠む吟行俳句会開催事業
------	---------	-------	------------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	21年度	22年度	23年度見込み
	参加人数	参加申込み人数		人	441	450
<b>指標で表せない成果</b>						
各俳誌の代表者が出席し、あわせて各代表の作品の披露、さらに参加作品の講評を直接聞くことができるこの事業は市内の愛好者はもちろんのこと、市外からの参加者も多い。						

事業の評価（所管課評価）	項目	評価	説明
	必要性	やや高い	・「明石文化芸術創生基本計画」において、「各種市民参加型事業の推進」を重点施策として掲げている。・文化の振興を図るとともに、まちのにぎわいづくりにつなげている。
	有効性	やや高い	・明石の風景や歴史を歌に詠むことで明石のまちの良さを再認識するとともに明石のまちを広く発信している。
	効率性	やや高い	・各俳誌の代表者、及び地元の愛好者の連携及び協力により、安価な費用で開催している。
評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性（所管課方針）	項目	判断	説明
	事業の規模	拡充	・応募者の増加に伴い、平成22年度から会場を生涯学習センターから市民会館中ホールに変えて実施しておりさらに事業の充実をはかる。
	手法の改善	軽微な改善	・各俳誌の代表者、及び地元の愛好者との連携を図り、作品の掲示について工夫するなど、さらに魅力ある事業内容にするため検証しながら市民参加の増大をはかる。
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止      手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止		
<b>今後の事業展開方針</b>			
市民の参加がさらに増加するよう広報に努めるとともに実施状況を検証しながら、開催を継続する。また、俳句会実施については、直営で事業を実施する。			
平成24年度の具体的改善内容（事業費増減要因等）		24年度予算事業費増減見込（千円）	
	対23年度当初予算比	合計	財源内訳
			国・県支出金    地方債    その他特定財源    一般財源
	削減見込	0	0    0    0    0
	増加見込	0	0    0    0    0
	差引 +	0	0    0    0    0

「平成24年度の具体的改善内容」「24年度予算事業費増減見込」は、平成23年8月末時点の見込みであり今後変更があります。

## 平成23年度 事務事業点検シート

事務事業名		中崎寄席開催事業		新規/継続	継続事業	整理番号	2005011	
				分割/統合				
関連 予算 科目	会計	一般会計		事業の分割/ 統合の内容				
	款	総務費		事業所管課	文化芸術部文化振興課			
	項	総務管理費		連絡先	(078)918-5607			
	目	文化振興・国際交流費		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 2 年度	
	事業	文化芸術振興事業		根拠法令 ・要綱等	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例			
第5次長総の 戦略の柱 展開の方向		3 明石らしい生活文化を育てる 3-2 スポーツや文化芸術、歴史に親しめる環境をつくる		実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理		
個別計画		文化芸術創生基本計画						

事業の 目的	対象（誰を・何を）	市民
	意図（どういう状態にしたいのか）	市民に優れた古典芸能を鑑賞する機会を提供するとともに、伝統文化にふれ親しむ機会の拡充を図る。

事業 内容	<平成20年度>	歴史と風格のある中崎公会堂で、市民に寄席の鑑賞機会を提供。 10月13日(月・祝)に開催。
	<平成21年度>	歴史と風格のある中崎公会堂で、市民に寄席の鑑賞機会を提供。 10月4日(日)に開催。
	<平成22年度>	歴史と風格のある中崎公会堂で、市民に寄席の鑑賞機会を提供。 10月16日(土)に開催。
	<平成23年度>	生涯学習センター子午線ホールで、市民に寄席の鑑賞機会を提供。 10月2日(日)に開催予定。

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				23年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	アルバイト	再任用	その他
21決算	1,508	1,890	3,398	0	0	936	2,462	0.45	0.00	0.00	0.00
22決算	1,513	1,350	2,863	0	0	901	1,962	0.00	0.00	0.00	0.00
23当初予算	1,683	3,851	5,534	0	0	900	4,634	0.01	0.00	0.00	0.46

区分(節)	内容	金額	23年度 当初 予算 事業 費 明細	区分(節)	内容	金額
需用費	チラシ印刷代、観客用明石の味覚等	206	23年度 当初 予算 事業 費 明細	需用費	消耗品、チラシ印刷費、観客用明石の味覚	220
役務費	舞台人件費、チケット販売手数料等	152		役務費	舞台人件費、チケット販売手数料	200
委託料	出演委託料	1,155		委託料	出演委託料	1,200
				使用料及び賃借料	会場付属設備	63
合計		1,513		合計		1,683

整理番号	2005011	事務事業名	中崎寄席開催事業
------	---------	-------	----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	21年度	22年度	23年度見込み
	参加人数	鑑賞した人数		人	263	253
指標で表せない成果						

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	やや高い	・「明石文化芸術創生基本計画」において、「多様な文化芸術の鑑賞機会の提供」を重点施策として掲げている。 ・古典芸能を鑑賞する機会を提供するとともに、市民が身近に古典芸能に触れることで生活に潤いと安らぎを提供することができる。
	有効性	やや高い	市民に古典芸能に触れる機会として定着している。
	効率性	やや高い	・安価な金額で人気の落語家を迎え開催を重ねている。
評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明								
	事業の規模	維持	この事業は、市民に古典芸能に触れる機会を提供するとともに、まちの賑わいづくりにもつながっている。今後も出演者の理解と協力をもとめながら開催を重ねていきたい。								
	手法の改善	軽微な改善	・必要性、有効性ともにやや高く、今後、市民により親しまれる行事として、若手落語家や市内学校クラブ等で活動している人たちの出演の検討や中崎公会堂を活用した行事を企画実施する。								
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止      手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止										
今後の事業展開方針											
落語環境を整えるため、平成23年度においては中崎公会堂から生涯学習センターに会場を移し開催することになった。出演者の要求は興行的な要素が強く、文化振興課実施事業として精査し検討を行うことが重要と考える。あわせて、中崎公会堂を活用した事業を企画し実施する。											
平成24年度の具体的改善内容（事業費増減要因等）		24年度予算事業費増減見込（千円）									
中崎公会堂を活用した事業を実施するため		対23年度当初予算比	合計	財源内訳							
		削減見込	0	国・県支出金	0	地方債	0	その他特定財源	0	一般財源	0
		増加見込	800	0	0	0	800				
		差引 +	800	0	0	0	800				

「平成24年度の具体的改善内容」「24年度予算事業費増減見込」は、平成23年8月末時点の見込みであり今後変更があり得ます。



平成23年度 事務事業点検シート

事務事業名		明石薪能開催事業	新規/継続	継続事業	整理番号	2005012	
			分割/統合				
			事業の分割/統合の内容				
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課	文化芸術部文化振興課			
	款	総務費	連絡先	(078)918-5607			
	項	総務管理費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 1 年度	
	目	文化振興・国際交流費	根拠法令・要綱等	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例			
	事業	文化芸術振興事業	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成	<input type="checkbox"/> その他	
第5次長総の戦略の柱展開の方向	3 明石らしい生活文化を育てる 3-2 スポーツや文化芸術、歴史に親しめる環境をつくる		<input type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 指定管理			
個別計画	文化芸術創生基本計画						

事業の目的	対象（誰を・何を）	市民
	意図（どういう状態にしたいのか）	伝統芸能を継承するとともに、市民に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供することにより伝統文化に親しむ機会の拡充を図る。

事業内容	<平成20年度>	源氏物語千年紀、明石海峡大橋開通10周年を記念して、第11回明石薪能を大蔵海岸で開催。 9月13日(土) 入場者数 約1,600人。
	<平成21年度>	明石市制90周年を記念して、第12回明石薪能を明石公園で開催。 10月9日(金) 入場者数 約1,200人。
	<平成22年度>	第13回明石薪能を明石公園で開催 10月1日(金)入場者数 約1,000人。
	<平成23年度>	第14回明石薪能を明石公園で開催する。 10月22日(土)に開催(予定)。

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				23年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	アルバイト	再任用	その他
21決算	2,000	5,700	7,700	0	0	0	7,700	0.93	0.00	0.00	0.00
22決算	5,000	7,470	12,470	0	0	0	12,470	0.00	0.00	0.00	0.00
23当初予算	5,000	7,931	12,931	0	0	0	12,931	0.01	0.00	0.00	0.94

22年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	23年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
		負担金補助及び交付金	明石薪能開催事業補助金		5,000		負担金補助及び交付金
	合計		5,000		合計		5,000

整理番号	2005012	事務事業名	明石新能開催事業
------	---------	-------	----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	21年度	22年度	23年度見込み
	指標で表せない成果					
	伝統芸能を継承するとともに、市民に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供できている。					

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	やや高い	明石文化芸術創生基本計画において「市民が伝統的な文化芸術に親しむ機会の提供」を重点施策として掲げている。伝統芸能を守り、次代へと継承していくことは市の責務であり、市が主体的に実施する意義が大きいものと考えられる。
	有効性	やや高い	市民に優れた舞台芸術を鑑賞する機会、伝統文化に親しむ機会を提供する事業として有効なものとする。
	効率性	低い	必要性、有効性ともにやや高い事業であるが、舞台は常設できないため、毎回組み立て撤去に多額の経費がかかっている。また、事務局を市が担っているため、開催にかかる諸準備等、事務量が多く、事業費・人件費ともに効率性が低い。
評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明
	事業の規模	維持	必要性・有効性ともにやや高く、概ね現状の規模で維持していく。
	手法の改善	軽微な改善	内容の充実を図り、チケット売上収入が向上するよう改善していく必要がある。
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止      手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止		
	今後の事業展開方針		
	初めての方でも楽しめるような演目の選択など内容の充実を図り、チケット売上収入の向上を図っていく。また、次世代育成の取り組みとして、こどもたちの参加・体験や鑑賞機会の拡充を図る。		
	平成24年度の具体的改善内容（事業費増減要因等）		24年度予算事業費増減見込（千円）
	対23年度当初予算比	合計	財源内訳
			国・県支出金    地方債    その他特定財源    一般財源
	削減見込	0	0    0    0    0
	増加見込	0	0    0    0    0
	差引 +	0	0    0    0    0

「平成24年度の具体的改善内容」「24年度予算事業費増減見込」は、平成23年8月末時点の見込みであり今後変更があり得ます。



整理番号	2005013	事務事業名	歌舞伎鑑賞教室開催事業			
------	---------	-------	-------------	--	--	--

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	21年度	22年度	23年度
	参加人数	鑑賞した人数		人	0	1003
<b>指標で表せない成果</b>						
歌舞伎の鑑賞だけでなく、歌舞伎の見どころなどの解説や子どもたちが出演する立ち回りなどの体験コーナーを通してより優れた伝統芸能の理解を深めることができる。						

事業の評価（所管課評価）	項目	評価	説明
	必要性	やや高い	・「明石文化芸術創生基本計画」において、「多様な文化芸術の鑑賞機会の提供」を重点施策として掲げている。 ・市民に古典芸能の鑑賞機会を提供するとともに、情操教育の一環として次代を担う子供たちの育成に資する。
	有効性	やや高い	質の高い歌舞伎鑑賞の機会を提供している。
	効率性	やや高い	・安価な金額で質の高い歌舞伎の開催を実施している。
評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性（所管課方針）	項目	判断	説明				
	事業の規模	維持	必要性、有効性ともにやや高く、平成23年度の実施状況を検証しながら今後も開催を重ねていく。				
	手法の改善	軽微な改善	次世代への取り組みとして「子どもたちの文化芸術への参加・体験活動の促進」を重点施策としてあげており、教育委員会と連携し、市内学校に行事として取り入れてもらえるよう働きかける				
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止      手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止						
<b>今後の事業展開方針</b>							
平成23年度は一般チケット発売前に市内中・高等学校に学生優先座席について説明案内したが、参加申し込みがなかった。市内中・高等学校、及び市内各団体（コミセン高齢者大学・あかねが丘学園・文化団体 等）にも事前に案内して集客に努める。平成24年度から細事業名を明石松竹歌舞伎開催事業と変更する。							
平成24年度の具体的改善内容（事業費増減要因等）		24年度予算事業費増減見込（千円）					
集客のためのチラシ・ポスター印刷費の増		対23年度当初予算比	合計	財源内訳			
		削減見込	0	国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源
		増加見込	150	0	0	0	150
		差引 +	150	0	0	0	150

「平成24年度の具体的改善内容」「24年度予算事業費増減見込」は、平成23年8月末時点の見込みであり今後変更があります。

平成23年度 事務事業点検シート

事務事業名		洋舞踊鑑賞事業	新規/継続	H23新規	整理番号	2005014
			分割/統合			
関連 予算 科目	会計	一般会計	事業の分割/ 統合の内容			
	款	総務費	事業所管課	文化芸術部文化振興課		
	項	総務管理費	連絡先	(078)918-5607		
	目	文化振興・国際交流費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 23 年度
	事業	文化芸術振興事業	根拠法令 ・要綱等	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例		
第5次長総の 戦略の柱 展開の方向	3 明石らしい生活文化を育てる 3-2 スポーツや文化芸術、歴史に親しめる環境をつくる		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理		
個別計画	文化芸術創生基本計画					

事業の 目的	対象（誰を・何を）	市民
	意図（どういう状態にしたいのか）	質の高い舞台芸術を鑑賞する機会を市民に提供することで、多様な文化芸術にふれる機会の拡充を図る。

事業内容	<平成23年度> 貞松浜田バレエ団と中国・中華全国総工会工団歌舞団による日中友好特別公演を開催する予定だったが、中国歌舞団来日中止のため開催なし。
------	--

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				23年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	アルバイト	再任用	その他
21決算	0	0	0	0	0	0	0	正規	0.00	アルバイト	0.00
22決算	0	0	0	0	0	0	0	再任用	0.00	その他	0.00
23当初予算	5,617	0	5,617	0	0	2,930	2,687	任期付	0.00	合計	0.00

22年度決算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額	23年度 当初 予算 事業 費 明 細	区分(節)	内容	金額
							需用費
					役務費	チケット販売手数料	350
					委託料	公演委託、チラシ等作成委託、警備委託	4,100
					使用料及び賃借料	会場使用料	1,057
	合計		0		合計		5,617

整理番号	2005014	事務事業名	洋舞踊鑑賞事業
------	---------	-------	---------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	21年度	22年度	23年度見込み
	指標で表せない成果					
市民に質の高い舞台芸術を鑑賞する機会を提供する。						

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	やや高い	市民に多様な文化芸術の鑑賞機会を提供する事業として必要性は、やや高いと認められる。
	有効性	やや高い	必要性がやや高く、これまで鑑賞機会の少なかった舞台芸術鑑賞機会の拡充が図られ、有効性はやや高いと認められる。
	効率性	やや低い	23年度は、中国歌舞団を招へいしジョイント公演を開催予定だったが、来日旅費等も負担することになっており、効率性はやや低い。
評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明				
	事業の規模	休廃止	洋舞踊に限定せず多様な舞台芸術の鑑賞機会の提供を図っていく。				
	手法の改善	休廃止	洋舞踊に限定せず多様な舞台芸術の鑑賞機会の提供を図っていく。				
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止      手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止						
	今後の事業展開方針						
明石文化芸術創生基本計画で「多様な文化芸術の鑑賞機会の提供」を掲げている。今後は、特に、これまで明石では鑑賞機会の乏しかった舞台芸術を鑑賞する機会の提供を図っていく。これに伴い、平成24年度から細事業名を舞台芸術鑑賞事業と変更する。							
平成24年度の具体的改善内容（事業費増減要因等）		24年度予算事業費増減見込（千円）					
舞台芸術鑑賞事業への変更		対23年度当初予算比	合計	財源内訳			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源
		削減見込	-5,617	0	0	-2,930	-2,687
		増加見込	0	0	0	0	0
		差引 +	-5,617	0	0	-2,930	-2,687

「平成24年度の具体的改善内容」「24年度予算事業費増減見込」は、平成23年8月末時点の見込みであり今後変更があり得ます。

平成23年度 事務事業点検シート

事務事業名		諸外国との音楽交流事業	新規/継続	継続事業	整理番号	2005015	
			分割/統合				
			事業の分割/統合の内容				
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課	文化芸術部文化振興課			
	款	総務費	連絡先	(078)918-5607			
	項	総務管理費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 19 年度	
	目	文化振興・国際交流費	根拠法令・要綱等	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例			
	事業	文化芸術振興事業	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 補助・助成	<input type="checkbox"/> その他	
第5次長総の戦略の柱展開の方向	3 明石らしい生活文化を育てる 3-2 スポーツや文化芸術、歴史に親しめる環境をつくる		<input type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 指定管理			
個別計画	文化芸術創生基本計画						

事業の目的	対象（誰を・何を）	市民
	意図（どういう状態にしたいのか）	市民に質の高い多様な文化芸術の観賞機会等を提供する。

事業内容	<平成20年度>	外国との音楽交流を実施。 9月26日(金)「明石&ヤクーツク～音楽のかけ橋 やさしさの贈り物～」コンサートを生涯学習センターホールで開催。	
	<平成21年度>	同上。 7月4日(土) スウェーデンの音楽療法とミニコンサートを生涯学習センターホールで開催。 8月22日(土)「親子で創る明石&ヤクーツク～音楽のかけ橋～」コンサートを生涯学習センターホールで開催。	
	<平成22年度>	(執行なし)	
	<平成23年度>	(執行予定なし)	

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				23年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	アルバイト	再任用	その他
21決算	591	270	861	0	0	0	861	0.00	0.00	0.00	0.00
22決算	0	270	270	0	0	0	270	0.00	0.00	0.00	0.00
23当初予算	300	0	300	0	0	0	300	0.00	0.00	0.00	0.00

22年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	23年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
					報償費	演奏会謝礼	100
					需用費	チラシ・プログラム印刷費	63
					役務費	舞台人件費、ピアノ調律費	37
					使用料及び賃借料	会場使用料	100
	合計		0		合計		300



整理番号	2005015	事務事業名	諸外国との音楽交流事業
------	---------	-------	-------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	21年度	22年度	23年度見込み
	指標で表せない成果					
	市民が質の高い芸術を鑑賞する機会の拡充を図れる。					

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	やや高い	明石文化芸術創生基本計画において「多様な文化芸術の鑑賞機会の提供」を重点施策として掲げている。優れたアーティストが近隣都市に来られたときに、迎え入れ演奏会を開催する事業として、市が行う必要性は高い。
	有効性	やや高い	市民に優れた音楽鑑賞の機会を提供する効果的な事業である。
	効率性	高い	近隣都市に来られる芸術家を迎え演奏会を開催することは、旅費や出演料など経費の削減につながり、効率的に市民に多様な芸術鑑賞の機会を提供することができる。
評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明
	事業の規模	維持	必要性が高く、概ね現状の規模で継続していく。
	手法の改善	維持	
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止      手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止		
	今後の事業展開方針		
	神戸国際芸術祭など近隣都市に来られる芸術家を迎え入れ、安価で演奏会を開催するための受け皿として実施していく。外国に限らず広く優れた音楽家を迎え入れるための事業として平成24年度から細事業名を変更する。		
	平成24年度の具体的改善内容（事業費増減要因等）		24年度予算事業費増減見込（千円）
	対23年度当初予算比	合計	財源内訳
			国・県支出金    地方債    その他特定財源    一般財源
	削減見込	0	0    0    0    0
	増加見込	0	0    0    0    0
	差引 +	0	0    0    0    0

「平成24年度の具体的改善内容」「24年度予算事業費増減見込」は、平成23年8月末時点の見込みであり今後変更があり得ます。

平成23年度 事務事業点検シート

事務事業名		姉妹都市交流推進事業	新規/継続	継続事業	整理番号	2005016
			分割/統合			
関連 予算 科目	会計	一般会計	事業の分割/ 統合の内容			
	款	総務費	事業所管課	文化芸術部文化振興課		
	項	総務管理費	連絡先	(078)918-5607		
	目	文化振興・国際交流費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 43 年度
	事業	姉妹都市交流事業	根拠法令 ・要綱等	姉妹都市提携		
第5次長総の 戦略の柱 展開の方向		2 自立した温かい地域コミュニティをつくる	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 補助・助成	<input type="checkbox"/> その他
		2-3 認め合う開かれた地域をつくる		<input type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	
個別計画						

事業の 目的	対象（誰を・何を）	市民、アメリカ合衆国バレホ市民
	意図（どういう状態にしたいのか）	市民同士の継続的な交流事業や相互訪問などを通じて相互理解と友好、親善を深めるため、バレホ市と必要な連絡調整を行う。

事業 内容	<平成21年度>	・市民や関係者が訪問した際の相互受け入れなどのほか、必要に応じ随時連絡調整を行う。
	<平成22年度>	・市民や関係者が訪問した際の相互受け入れなどのほか、必要に応じ随時連絡調整を行う。
	<平成23年度>	・市民や関係者が訪問した際の相互受け入れなどのほか、必要に応じ随時連絡調整を行う。

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				23年度人員配置(人)		
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	アルバイト	その他
21決算	39	1,800	1,839	0	0	0	1,839	0.06	0.00	0.00
22決算	92	450	542	0	0	0	542	0.00	0.00	0.00
23当初予算	141	510	651	0	0	0	651	0.00	0.00	0.06

22年度 決算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額	23年度 当初 予算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額
		報償費	通訳謝礼		25		報償費
	役務費	文書翻訳料	67		役務費	文書翻訳料	101
	合計		92		合計		141

整理番号	2005016	事務事業名	姉妹都市交流推進事業
------	---------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	21年度	22年度	23年度見込み
	指標で表せない成果					
バレホ市との連絡調整がスムーズに進み、相互理解が深まっている。						

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	やや高い	・バレホ市との交流は姉妹都市提携から40年を超え、本市の国際交流を基礎付けるものであり、両市の長年にわたる良好な関係を今後さらに発展させていく必要がある。 ・交流の主役は市民であるが、姉妹都市提携はお互いの市と市が締結したものであることから、市として事業を実施する必要がある。
	有効性	やや高い	・長きにわたる交流の成果として、両市は良好な関係を構築している。 ・毎年、何らかの形で市民同士が交流できるよう、バレホ市側との連絡調整を続けている。
	効率性	やや高い	・事業の実施にあたっては、市だけで実施するのではなく明石姉妹都市協会等の市民団体との協働により進めている。
評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明			
	事業の規模	維持	バレホ市との連絡調整をおこなう上で必要最小限の予算額であり、現在の規模で継続する。			
	手法の改善	維持	バレホ市との連絡調整をおこなう上で必要最小限の事業を実施しており、現在の手法を継続する。			
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止      手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止					
今後の事業展開方針						
現状通り進める。						
平成24年度の具体的改善内容（事業費増減要因等）		24年度予算事業費増減見込（千円）				
	対23年度当初予算比	合計	財源内訳			
			国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源
	削減見込	0	0	0	0	0
	増加見込	0	0	0	0	0
	差引 +	0	0	0	0	0

「平成24年度の具体的改善内容」「24年度予算事業費増減見込」は、平成23年8月末時点の見込みであり今後変更があり得ます。

平成23年度 事務事業点検シート

事務事業名		明石市青少年派遣事業	新規/継続	継続事業	整理番号	2005017	
			分割/統合				
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容				
	款	総務費	事業所管課	文化芸術部文化振興課			
	項	総務管理費	連絡先	(078)918-5607			
	目	文化振興・国際交流費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 22 年度	
	事業	姉妹都市交流事業	根拠法令・要綱等	姉妹都市提携			
第5次長総の戦略の柱展開の方向	5 一人ひとりの成長を支える 5-3 幅広い世代の意欲を育む		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他			
個別計画				<input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理			

事業の目的	対象（誰を・何を）	明石市内在住・在学の中学・高校生 アメリカ合衆国バレホ市民
	意図（どういう状態にしたいのか）	バレホ市へ青少年を派遣し、ホームステイなどの異文化体験を通じて国際感覚豊かな人材を育成するとともに、両市の友好親善の一層の促進を図る。
	事業内容	<p>&lt;平成22年度&gt; 派遣人数：18人 引率者：3人 対象：市内在住、在学の中学・高校生 時期：7月29日～8月4日（5泊7日。うちホームステイ4泊） 費用負担等：参加する青少年は実費を負担 内容：バレホでのホームステイ体験、異文化体験、現地青少年との交流事業</p> <p>&lt;平成23年度&gt; 派遣人数：11人 引率者：3人 対象：市内在住、在学等の中学・高校生 時期：7月27日～8月3日（6泊8日。うちホームステイ5泊） 費用負担等：参加する青少年は実費を負担 内容：バレホでのホームステイ体験、異文化体験、現地青少年との交流事業</p>

事業の内容	<p>&lt;平成22年度&gt; 派遣人数：18人 引率者：3人 対象：市内在住、在学の中学・高校生 時期：7月29日～8月4日（5泊7日。うちホームステイ4泊） 費用負担等：参加する青少年は実費を負担 内容：バレホでのホームステイ体験、異文化体験、現地青少年との交流事業</p> <p>&lt;平成23年度&gt; 派遣人数：11人 引率者：3人 対象：市内在住、在学等の中学・高校生 時期：7月27日～8月3日（6泊8日。うちホームステイ5泊） 費用負担等：参加する青少年は実費を負担 内容：バレホでのホームステイ体験、異文化体験、現地青少年との交流事業</p>										
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				23年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	アルバイト	その他	
21決算	0	0	0	0	0	0	0	0	0.41	0.00	0.00
22決算	2,868	7,020	9,888	0	0	0	9,888	0.00	0.00	0.00	0.00
23当初予算	2,170	3,485	5,655	0	0	0	5,655	0.00	0.00	0.41	0.41

22年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	23年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	旅費	訪米旅費(青少年団引率者3人) 訪米旅費(市長、随行人)	2,469			旅費	訪米旅費(引率者)
委託料	派遣事業委託	399		役務費	海外専用携帯電話通話料	30	
				委託料	派遣事業委託料	940	
	合計		2,868		合計		2,170

整理番号	2005017	事務事業名	明石市青少年派遣事業
------	---------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	21年度	22年度	23年度見込み
	青少年親善訪米団への応募人数	事業への理解が深まり評価が高まることにより、応募人数が増えると考えられる。	人		18人	11人
<b>指標で表せない成果</b>						
・姉妹都市との交流を進めることにより、市民の国際交流への理解を深める。 ・将来の明石市の国際交流を担うことのできる人材の育成を図る。						

事業の評価（所管課評価）	項目	評価	説明
	必要性	高い	・パレホ市との交流は姉妹都市提携から40年を超え、本市の国際交流を基礎付けるものであり、両市の長年にわたる良好な関係を今後さらに発展させていく必要がある。 ・ホームステイ交流事業は民間でも広く実施されているが、市がおこなう姉妹都市への派遣は、提携先の市民の善意に基づくボランティアでの受け入れであることから、市民同士の友好を深めやすく経済的にも優位である。また継続して取り組めることから市民の安心感も高く、市が実施する必要性は高い。
	有効性	やや高い	・両市市民の相互理解を深める方法として、ホームステイは最も適しているため、手法の有効性は高い。 ・平成22年度から始めた事業であり、成果の指標として挙げた事業への応募人数については、今後継続的な推移から判断していきたい。
	効率性	やや高い	・参加費への補助をおこなってならず、最小限の経費で派遣事業を実施している。 ・事業の実施にあたっては明石市国際交流協会へ委託しており、効率的な実施を図っている。
評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性（所管課方針）	項目	判断	説明				
	事業の規模	維持	・パレホ市側の受け入れ態勢等の状況を考慮すると、派遣人数は現在の規模が適正である。 ・実施時期や研修内容、引率者数等については、今後、回数を重ねていく中で検証していく。				
	手法の改善	軽微な改善	・現在、2度目の派遣事業を進めている最中であり、実施を重ねる中で必要に応じて募集対象や派遣期間、事前事後の研修等について、手法の改善を進める。				
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止      手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止						
<b>今後の事業展開方針</b>							
必要に応じて改善を加えながら、青少年派遣事業を進めていく。							
平成24年度の具体的改善内容（事業費増減要因等）		24年度予算事業費増減見込（千円）					
	対23年度当初予算比	合計	財源内訳				
			国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	
			削減見込	0	0	0	0
			増加見込	0	0	0	0
差引 +		0	0	0	0		

「平成24年度の具体的改善内容」「24年度予算事業費増減見込」は、平成23年8月末時点の見込みであり今後変更があり得ます。

## 平成23年度 事務事業点検シート

事務事業名		友好都市交流推進事業		新規/継続	継続事業	整理番号	2005018	
				分割/統合				
関連 予算 科目	会計	一般会計		事業の分割/ 統合の内容				
	款	総務費		事業所管課	文化芸術部文化振興課			
	項	総務管理費		連絡先	(078)918-5607			
	目	文化振興・国際交流費		自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 56 年度	
	事業	友好都市交流事業		根拠法令 ・要綱等	友好都市提携			
第5次長総の 戦略の柱 展開の方向		2 自立した温かい地域コミュニティをつくる		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理			
		2-3 認め合う開かれた地域をつくる						
個別計画								

事業の 目的	対象（誰を・何を）	市民、中国無錫市民	
	意図（どういう状態にしたいのか）	市民同士の継続的な交流事業や相互訪問などを通じて相互理解と友好、親善を深めるため、無錫市と必要な連絡調整を行う。	

事業内容	<平成21年度>	・市民や関係者が訪問した際の相互受け入れなどに伴い、必要に応じ随時連絡調整を行う。
	<平成22年度>	・市民や関係者が訪問した際の相互受け入れなどに伴い、必要に応じ随時連絡調整を行う。
	<平成23年度>	・市民や関係者が訪問した際の相互受け入れなどに伴い、必要に応じ随時連絡調整を行う。

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				23年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	アルバイト	再任用	その他
21決算	27	900	927	0	0	0	927	0.06	0.00	0.00	0.00
22決算	38	450	488	0	0	0	488	0.00	0.00	0.00	0.00
23当初予算	201	510	711	0	0	0	711	0.00	0.00	0.00	0.06

22年度決算 事業費明細	区分(節)	内容	金額	23年度 当初予算 事業費明細	区分(節)	内容	金額
	旅費	出張旅費	13		2	報償費	通訳謝礼
役務費	文書翻訳料	25	3	旅費	出張旅費	60	
				役務費	文書翻訳料	101	
	合計		38		合計		201

整理番号	2005018	事務事業名	友好都市交流推進事業
------	---------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	21年度	22年度	23年度見込み
	指標で表せない成果					
無錫市との連絡調整がスムーズに進み、相互理解が深まっている。						

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	やや高い	・近年の国際情勢を考えると、中国との友好交流を進める必要性が高まっている。 ・無錫市との交流は友好都市提携から30年目を迎え、本市の国際交流を基礎づけるものであり、両市の長年にわたる良好な関係を、今後さらに発展させていく必要がある。 ・交流の主役は市民であるが、友好都市提携はお互いの市と市が締結したものであることから、市として事業を実施する必要がある。
	有効性	やや高い	・長きにわたる交流の成果として、両市は良好な関係を構築している。 ・市民同士が継続的に交流できるよう、無錫市側との連絡調整を続けている。
	効率性	やや高い	・事業の実施にあたっては、市だけで実施するのではなく明石市日中友好協会等の市民団体との協働により進めている。
評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明				
	事業の規模	維持	無錫市との連絡調整をおこなう上で必要最小限の予算額であり、現在の規模で継続する。				
	手法の改善	維持	無錫市との連絡調整をおこなう上で必要最小限の事業を実施しており、現在の手法を継続する。				
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止      手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止						
今後の事業展開方針							
現状通り進めていく。							
平成24年度の具体的改善内容（事業費増減要因等）		24年度予算事業費増減見込（千円）					
		対23年度当初予算比	合計	財源内訳			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源
		削減見込	0	0	0	0	0
		増加見込	0	0	0	0	0
		差引 +	0	0	0	0	

「平成24年度の具体的改善内容」「24年度予算事業費増減見込」は、平成23年8月末時点の見込みであり今後変更があり得ます。



## 平成23年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	友好都市提携30周年記念事業			新規/継続	H23新規	整理番号	2005019	
				分割/統合				
<b>関連予算科目</b>	会計	一般会計		事業の分割/統合の内容				
	款	総務費		事業所管課	文化芸術部文化振興課			
	項	総務管理費		連絡先	(078)918-5607			
	目	文化振興・国際交流費		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 23 年度	
	事業	友好都市交流事業		根拠法令・要綱等	友好都市提携			
<b>第5次長総の戦略の柱展開の方向</b>	2 自立した温かい地域コミュニティをつくる		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理				
	2-3 認め合う開かれた地域をつくる							
<b>個別計画</b>								

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>							
	市民、中国無錫市民							
<b>事業の目的</b>	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>							
	友好都市提携30周年の節目の年に代表団を相互派遣するとともに、両市で青少年を中心とした記念事業を開催して市民交流の促進に努め、両市市民の相互理解や友好、親善を深める。							

<b>事業内容</b>	<b>&lt;平成23年度&gt;（新規事業）</b>							
	1) 無錫市での記念事業（実施時期：平成23年8月下旬） ・明石市、明石市議会の代表団訪中、無錫市長や無錫市人民代表大会主任（市議会議長）との会見式や記念祝賀会への出席 ・明石市中学生吹奏楽交流団訪中 メンバー：市内中学校の吹奏楽部から選抜された約60人、引率教師約20人 主な内容：無錫市内ホールでの記念演奏会 無錫市内のオープンスペースでの演奏披露 天華芸術学校生徒との音楽交流 など 2) 明石市での記念事業（実施時期：平成23年10月下旬～11月上旬） ・無錫市代表団の招請、記念祝賀会の開催 ・無錫市青少年駅伝交流団の来明 メンバー：無錫市中高生駅伝チーム2～3チーム、合計20人前後 主な内容： 広く市民から公募した約100チームと、無錫市から招請した中高生チームによる交流駅伝大会を明石公園で開催 日本文化の体験や交流イベントに参加し、市民との交流を深める							

事業のコスト （単位：千円）	事業費	人件費 （参考値）	総事業費 （参考値）	財源内訳				23年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	アルバイト	再任用	その他
21決算	0	0	0	0	0	0	0	正規	1.10	アルバイト	0.00
22決算	0	0	0	0	0	0	0	再任用	0.00	その他	0.00
23当初予算	14,190	9,350	23,540	0	0	0	23,540	任期付	0.00	合計	1.10

22年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	23年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
					2	報償費	150
					3	旅費	500
						需用費	25
						役務費	15
						委託料	13,500
						通訳謝礼	150
						訪中旅費（吹奏楽団随行分）	500
						消耗品等	25
						海外専用携帯電話通話料	15
						30周年記念事業委託	13,500
	合計		0		合計		14,190

整理番号	2005019	事務事業名	友好都市提携30周年記念事業			
------	---------	-------	----------------	--	--	--

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	21年度	22年度	23年度見込み
	指標で表せない成果					
友好都市提携30周年の節目の年に相互派遣した友好交流団はもちろん、両市での青少年を中心とした記念事業の開催により市民交流が進み、両市市民の相互理解や友好、親善を深まっている。						

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	高い	・近年の国際情勢を考えると、中国との友好交流を進める必要性が高まっている。 ・無錫市との交流は友好都市提携から30年目を迎え、本市の国際交流を基礎づけるものであり、両市の長年にわたる良好な関係を、今後さらに発展させていく必要がある。 ・交流の主役は市民であるが、友好都市提携はお互いの市と市が締結したものであることから、市として事業を実施する必要がある。
	有効性	高い	・長きにわたる交流の成果として、両市は良好な関係を構築している。 ・市民同士が継続的に交流できるよう、無錫市側との連絡調整を続けている。
	効率性	やや高い	・事業の実施にあたっては、市だけで実施するのではなく、明石市陸上競技協会や明石市日中友好協会等の市民団体との協働により進めるとともに、明石市国際交流協会へ委託することで、より効率的な方法で進めている。
評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明					
	事業の規模	休廃止	友好都市提携30周年を祝う単年度の事業であるため。					
	手法の改善	休廃止	友好都市提携30周年を祝う単年度の事業であるため。					
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止      手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止							
	今後の事業展開方針							
	平成24年度の具体的改善内容（事業費増減要因等）			24年度予算事業費増減見込（千円）				
事業は実施しない			対23年度当初予算比	合計	財源内訳			
					国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源
			削減見込	-14,190	0	0	0	-14,190
			増加見込	0	0	0	0	0
差引 +			-14,190	0	0	0	-14,190	

「平成24年度の具体的改善内容」「24年度予算事業費増減見込」は、平成23年8月末時点の見込みであり今後変更があり得ます。

平成23年度 事務事業点検シート

事務事業名		明石市友好訪中団派遣事業	新規/継続	継続事業	整理番号	2005020	
			分割/統合				
			事業の分割/統合の内容				
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課	文化芸術部文化振興課			
	款	総務費	連絡先	(078)918-5607			
	項	総務管理費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 56 年度	
	目	文化振興・国際交流費	根拠法令・要綱等	友好都市提携			
第5次長総の戦略の柱展開の方向	事業	友好都市交流事業	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理			
	2 自立した温かい地域コミュニティをつくる						
	2-3 認め合う開かれた地域をつくる						
個別計画							

事業の目的	対象（誰を・何を）	市民、中国無錫市民
	意図（どういう状態にしたいのか）	公式団を派遣し、両市の相互理解と友好関係をさらに深める。

事業内容	<平成21年度>	・市長訪中 人数：2人 期間：平成21年11月7日～14日（8日間） ・「ひょうご県民交流の船」（主催：ひょうご県民交流の船実行委員会）への職員派遣 派遣人数2人 期間：平成21年9月15日～23日（9日間） 事業参加人数：無錫・三峡下りコース58名（全コース合計465名）
	<平成22年度>	・友好都市提携30周年に向けての事前協議団 人数：2人 期間：平成22年10月24日～27日（4日間）
	<平成23年度>	・明石市友好訪中団（無錫市での30周年事業に参加） 人数：4人 期間：平成23年8月27日～30日（4日間）

事業のコスト （単位：千円）	事業費	人件費 （参考値）	総事業費 （参考値）	財源内訳				23年度人員配置（人）		
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	アルバイト	その他
21決算	622	4,500	5,122	0	0	0	5,122	0.55	0.00	0.00
22決算	723	4,320	5,043	0	0	0	5,043	0.00	0.00	0.00
23当初予算	2,530	4,675	7,205	0	0	0	7,205	0.00	0.00	0.55

22年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	23年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	報償費	通訳謝礼	100		300	報償費	通訳謝礼
旅費	訪中旅費	386	2,000	旅費	訪中旅費	2,000	
需用費	消耗品等	206	200	需用費	消耗品等	200	
役務費	海外専用携帯電話通話料	31	30	役務費	海外専用携帯電話通話料	30	
	合計	723	2,530		合計	2,530	

整理番号	2005020	事務事業名	明石市友好訪中国派遣事業
------	---------	-------	--------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	21年度	22年度	23年度見込み
	指標で表せない成果 無錫市への公式団派遣により、両市幹部が直接交流することで相互理解が深まっている。					

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	やや高い	・近年の国際情勢を考えると、中国との友好交流を進める必要性が高まっている。 ・無錫市との交流は友好都市提携から30年目を迎え、本市の国際交流を基礎づけるものであり、両市の長年にわたる良好な関係を、今後さらに発展させていく必要がある。 ・中国との交流では、行政間の交流の基盤のうえに市民同士の交流が成り立っていることから、市が公式団を派遣することに必要性が認められる。
	有効性	やや高い	・公式団の派遣により、両市の幹部同士が直接意見交換する中で、相互理解を深めるとともに友好関係の強化が図られている。
	効率性	やや高い	・必要最小限の予算の中で実施している事業であり、削減の余地は少ない。
評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明
	事業の規模	維持	現状通り続ける。
	手法の改善	維持	現状通り続ける。
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止      手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止		
	今後の事業展開方針		
	最少の経費で最大の効果が得られるよう、今後も検討を重ねる。		
	平成24年度の具体的改善内容（事業費増減要因等）		24年度予算事業費増減見込（千円）
	対23年度当初予算比	合計	財源内訳
			国・県支出金    地方債    その他特定財源    一般財源
	削減見込	0	0    0    0    0
	増加見込	0	0    0    0    0
	差引 +	0	0    0    0    0

「平成24年度の具体的改善内容」「24年度予算事業費増減見込」は、平成23年8月末時点の見込みであり今後変更があり得ます。

平成23年度 事務事業点検シート

事務事業名		無錫市友好交流団受入事業	新規/継続	継続事業	整理番号	2005021	
			分割/統合				
			事業の分割/統合の内容				
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課	文化芸術部文化振興課			
	款	総務費	連絡先	(078)918-5607			
	項	総務管理費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 56 年度	
	目	文化振興・国際交流費	根拠法令・要綱等	友好都市提携			
	事業	友好都市交流事業	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 補助・助成	<input type="checkbox"/> その他	
第5次長総の戦略の柱展開の方向	2 自立した温かい地域コミュニティをつくる		<input checked="" type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 指定管理			
	2-3 認め合う開かれた地域をつくる						
個別計画							

事業の目的	対象（誰を・何を）	市民、中国無錫市民
	意図（どういう状態にしたいのか）	来明の受け入れを通じて、両市の相互理解と友好交流を推進する。

事業内容	無錫市友好交流団の来明を受け入れ、交流事業を行う
	<p>&lt;平成21年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>無錫市代表団(無錫市副市长ほか) 人数:10人 期日:平成21年4月11日(1日間)</li> <li>無錫市友好交流団(無錫市人民代表大会常務委員会副主任ほか) 人数:6人 期間:平成21年10月30日~11月3日(5日間)</li> </ul> <p>&lt;平成22年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>無錫市友好訪問団(無錫市人民代表大会常務委員会副秘書長ほか) 人数:10人 期間:平成22年7月20日(1日間)</li> <li>無錫市友好交流団(無錫市政治協商会議主席ほか) 人数:7人 期間:平成23年2月24日~25日</li> </ul> <p>&lt;平成23年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>無錫市代表団(30周年記念関連) 人数:6人程度 時期:平成23年10月下旬~11月上旬 期間:5日程度</li> </ul>

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				23年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	アルバイト	再任用	その他
21決算	1,249	3,600	4,849	0	0	0	4,849	0.40	0.00	0.00	0.00
22決算	431	5,670	6,101	0	0	0	6,101	0.00	0.00	0.00	0.00
23当初予算	1,445	3,400	4,845	0	0	0	4,845	0.00	0.00	0.00	0.40

22年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	23年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
		報償費	通訳謝礼		85		報償費
	需用費	消耗品費、食糧費	226		需用費	消耗品等	280
	使用料及び賃借料	ホテル使用料	120		委託料	受入事業委託	750
					使用料及び賃借料	ホテル使用料	230
	合計		431		合計		1,445

整理番号	2005021	事務事業名	無錫市友好交流団受入事業			
------	---------	-------	--------------	--	--	--

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	21年度	22年度	23年度見込み
	指標で表せない成果					
	無錫市からの友好交流団受け入れにより両市の交流が進んでいるとともに、友好都市・無錫に対する市民の関心が高まっている。					

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	やや高い	・近年の国際情勢を考えると、中国との友好交流を進める必要性が高まっている。 ・無錫市との交流は友好都市提携から30年目を迎え、本市の国際交流を基礎づけるものであり、両市の長年にわたる良好な関係を、今後さらに発展させていく必要がある。 ・中国との交流では、行政間の交流の基盤のうえに市民同士の交流が成り立っていることから、無錫市の公式団等の友好交流団を市として受け入れることは必要であると認められる。
	有効性	やや高い	・友好交流団の受け入れにより、両市幹部が直接意見交換する中で、相互理解や友好関係の強化が図られている。
	効率性	やや高い	・無錫市からの友好交流団受け入れに際しては、基本的には明石市国際交流協会に手配を委託するなどして、経費節減に努めている。
評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明				
	事業の規模	維持	現状通り進める。				
	手法の改善	軽微な改善	受け入れ業務の委託内容の精査を進め、より効率的な実施を図る。				
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止      手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止						
	今後の事業展開方針						
	国際的な儀礼を逸しないことを前提に、今後も友好交流団の受け入れにかかる経費の削減を検討していく。						
平成24年度の具体的改善内容（事業費増減要因等）		24年度予算事業費増減見込（千円）					
		対23年度当初予算比	合計	財源内訳			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源
		削減見込	0	0	0	0	0
		増加見込	0	0	0	0	0
		差引 +	0	0	0	0	

「平成24年度の具体的改善内容」「24年度予算事業費増減見込」は、平成23年8月末時点の見込みであり今後変更があります。

平成23年度 事務事業点検シート

事務事業名	無錫市研修生受入事業		新規/継続	継続事業	整理番号	2005022
			分割/統合			
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容			
	款	総務費	事業所管課	文化芸術部文化振興課		
	項	総務管理費	連絡先	(078)918-5607		
	目	文化振興・国際交流費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 56 年度
	事業	友好都市交流事業	根拠法令・要綱等	友好都市提携		
第5次長総の戦略の柱展開の方向	2 自立した温かい地域コミュニティをつくる		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 補助・助成	<input type="checkbox"/> その他
	2-3 認め合う開かれた地域をつくる			<input checked="" type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	
個別計画						

事業の目的	対象（誰を・何を）	市民、中国無錫市民
	意図（どういう状態にしたいのか）	無錫市関係者の研修を通じて、無錫市の発展に資するとともに、市民との交流により両市の相互理解と友好関係の進展を図る。

事業内容	・中国無錫市から行政関係者を中心とする研修生を受け入れ、明石市の市政等について研修を行う。 ・研修期間中、市民との交流の機会を持つ。	
	<平成20年度>	人数:3人 期間:平成21年2月4日~23日(20日間) テーマ:環境保護
	<平成21年度>	人数:3人 期間:平成21年11月5日~24日(20日間) テーマ:防災安全
	<平成22年度>	人数:2人 期間:平成23年2月12日~3月1日(18日間) テーマ:障害福祉
	<平成23年度>	人数:2人 期間:20日間 時期:未定 テーマ:未定

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				23年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	アルバイト	その他	
21決算	1,265	3,600	4,865	0	0	0	4,865	正規	0.25	アルバイト	0.00
22決算	830	6,120	6,950	0	0	0	6,950	再任用	0.00	その他	0.00
23当初予算	1,307	2,125	3,432	0	0	0	3,432	任期付	0.00	合計	0.25

22年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	23年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報償費	通訳謝礼	60		報償費	通訳謝礼	125
需用費	消耗品費、食糧費	120	需用費	消耗品等	180		
委託料	受入事業委託	474	委託料	受入事業委託	764		
使用料及び賃借料	ホテル使用料	176	使用料及び賃借料	ホテル使用料	238		
合計			830	合計			1,307



整理番号	2005022	事務事業名	無錫市研修生受入事業
------	---------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	21年度	22年度	23年度見込み
	指標で表せない成果					
明石市で研修した無錫市からの研修生が、その成果を無錫市にフィードバックしている。						

事業の評価（所管課評価）	項目	評価	説明
	必要性	やや高い	・近年の国際情勢を考えると、中国との友好交流を進める必要性が高まっている。 ・無錫市との交流は友好都市提携から30年目を迎え、本市の国際交流を基礎づけるものであり、両市の長年にわたる良好な関係を、今後さらに発展させていく必要がある。 ・無錫市からの研修生の受け入れについては同市の発展に寄与するものであり、派遣に対する同市の強い意向もあることから、本市としても必要性が高いと考えている。
	有効性	やや高い	約3週間、日本に滞在することから有効な研修カリキュラムを編成できるとともに、市民との交流事業も組み込みやすいことから、明石市民の国際交流推進にの意から有効性が認められる。
	効率性	高い	受け入れについては、明石市国際交流協会への事業委託により、経費削減に努めている。
評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性（所管課方針）	項目	判断	説明				
	事業の規模	維持	現状通り進める。				
	手法の改善	軽微な改善	・引き続き業務委託の手法を用いて、より効率的な実施を図る。 ・研修生からのレポート提出等、研修効果をフィードバックさせるよう手法に工夫を加える。				
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止      手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止						
今後の事業展開方針							
国際的な儀礼を逸しないことを前提に、今後も研修生の受け入れにかかる経費の削減を検討していく。							
平成24年度の具体的改善内容（事業費増減要因等）		24年度予算事業費増減見込（千円）					
		対23年度当初予算比	合計	財源内訳			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源
		削減見込	0	0	0	0	0
		増加見込	0	0	0	0	0
		差引 +	0	0	0	0	

「平成24年度の具体的改善内容」「24年度予算事業費増減見込」は、平成23年8月末時点の見込みであり今後変更があり得ます。

平成23年度 事務事業点検シート

事務事業名		無錫市訪日団受入事業(相模原市招請)	新規/継続	継続事業	整理番号	2005023
			分割/統合			
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容			
	款	総務費	事業所管課	文化芸術部文化振興課		
	項	総務管理費	連絡先	(078)918-5607		
	目	文化振興・国際交流費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 60 年度
	事業	友好都市交流事業	根拠法令・要綱等	友好都市提携		
第5次長総の戦略の柱展開の方向		2 自立した温かい地域コミュニティをつくる	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 補助・助成	<input type="checkbox"/> その他
		2-3 認め合う開かれた地域をつくる		<input checked="" type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	
個別計画						

事業の目的	対象(誰を・何を)	市民、中国無錫市民
	意図(どういう状態にしたいのか)	相模原市が招請した無錫市からの来明団の受け入れを通じて、両市の友好交流を推進する。

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>中国無錫市と友好都市提携を結んでいる神奈川県相模原市が招請した無錫市関係者を明石市に受け入れ、市民間交流や研修などを通じて友好都市交流の進展を図る。</li> <li>交流団の人数、時期等は相模原市が無錫市と協議して決定する。</li> </ul>
	<p>&lt;平成21年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>無錫市経済・監査視察団</li> <li>人数:3人</li> <li>期日:平成21年12月11日(1日間)</li> </ul> <p>&lt;平成22年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>無錫市行政管理視察団</li> <li>人数:3人</li> <li>期日:平成23年3月4日(1日間)</li> </ul> <p>&lt;平成23年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>無錫市研修生</li> <li>人数:3人程度</li> <li>時期:未定</li> </ul>

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				23年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	再任用	パート	その他
21決算	93	1,800	1,893	0	0	0	1,893	0.02	0.00	0.00	0.00
22決算	92	360	452	0	0	0	452	0.00	0.00	0.00	0.00
23当初予算	954	170	1,124	0	0	0	1,124	0.00	0.00	0.02	0.00

22年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	23年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報償費	通訳謝礼	25			報償費	通訳謝礼
需用費	消耗品費、食糧費	67		需用費	消耗品等	200	
				委託料	受入事業委託	520	
				使用料及び賃借料	ホテル使用料	124	
	合計		92		合計		954

整理番号	2005023	事務事業名	無錫市訪日団受入事業(相模原市招請)
------	---------	-------	--------------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	21年度	22年度	23年度見込み
	指標で表せない成果					
神奈川県・相模原市が招請した無錫市からの友好交流団を受け入れることにより、明石市と無錫市の交流が進み、友好都市・無錫市に対する市民の関心が高まっている。						

事業の評価(所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	やや高い	・近年の国際情勢を考えると、中国との友好交流を進める必要性が高まっている。 ・無錫市との交流は友好都市提携から30年目を迎え、本市の国際交流を基礎づけるものであり、両市の長年にわたる良好な関係を、今後さらに発展させていく必要がある。 ・中国との交流では、行政間の交流の基盤のうえに市民同士の交流が成り立っていることから、無錫市からの訪問団を市として受け入れることは必要である。特に無錫市からの研修生の受け入れは同市の発展に寄与するものであり、派遣に対する同市の強い意向もあることから、本市としても必要性が高いと考えている。
	有効性	やや高い	・無錫市からの訪問団の受け入れにより、両市幹部が直接意見交換する中で、相互理解や友好関係の強化が図られている。
	効率性	高い	・無錫市からの訪問団受け入れに際しては従前から経費節減に努め、国際儀礼を逸しない範囲で必要最小限の経費で実施している。
評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性(所管課方針)	項目	判断	説明				
	事業の規模	縮小	無錫市の友好都市提携先が増加したこと等に伴い、来日団の滞在形態が従来より変化してきたため、相模原市との招請団の相互受け入れについての見直しをおこなった結果、無錫市からの研修生のみを相互受け入れすることとしたため。				
	手法の改善	抜本的改善	相模原市が招請した行政団および研修生のうち、今後は研修生のみを受け入れることとする。				
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止      手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止						
今後の事業展開方針							
国際的な儀礼を逸しないことを前提に、今後も受け入れにかかる経費の削減を検討していく。							
平成24年度の具体的改善内容(事業費増減要因等)		24年度予算事業費増減見込(千円)					
相模原市招請団のうち、行政団の受け入れを中止する。		対23年度当初予算比	合計				
			財源内訳				
		削減見込	-849	0	0	0	-849
		増加見込	0	0	0	0	0
		差引 +	-849	0	0	0	-849

「平成24年度の具体的改善内容」「24年度予算事業費増減見込」は、平成23年8月末時点の見込みであり今後変更があり得ます。

平成23年度 事務事業点検シート

事務事業名	国際交流推進事業		新規/継続	継続事業	整理番号	2005024		
			分割/統合					
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容					
	款	総務費	事業所管課	文化芸術部文化振興課				
	項	総務管理費	連絡先	(078)918-5607				
	目	文化振興・国際交流費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 18 年度		
	事業	国際交流事業	根拠法令・要綱等	明石市国際交流協会設立				
第5次長総の戦略の柱展開の方向	2 自立した温かい地域コミュニティをつくる 2-3 認め合う開かれた地域をつくる		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他				
個別計画				<input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理				

事業の目的	対象（誰を・何を）	市民（在住外国人を含む）						
	意図（どういう状態にしたいのか）	市民の国際理解を深め、多文化共生・地域国際化を推進する。						

事業内容	<p>・広く市民に国際交流について普及啓蒙するとともに、幅広い国際交流を推進する。                  ・国際交流促進事業（主な内容は下記 ～ ）を明石市国際交流協会へ委託し、多文化共生・地域国際化を進める。                  国際交流・協力啓蒙事業（国際交流ボランティアの募集・育成 など） 多文化共生事業（国際理解講演会、小中学校へのゲストティーチャーの派遣、日本語学習会「いろはクラブ」の開催 など） 国際交流活動助成事業</p>							
	<p>&lt;平成21年度&gt;                  会員数524人、ボランティア登録人数延べ158人(3月31日現在)                  国際理解講演会 ネルケ無方「禅 日本人 そして私」190人参加                  ゲストティーチャー派遣件数 延べ8回30人                  通訳・翻訳 年間23回(英語、中国語、ポルトガル語、ドイツ語)                  日本語学習会「いろはクラブ」開催件数 年間930回 など                  国際交流活動助成 5団体に計19万円を助成</p> <p>&lt;平成22年度&gt;                  会員数483人、ボランティア登録人数延べ170人(3月31日現在)                  国際理解講演会 にしゃんた「予期せぬ 素敵な発見・出会い」150人参加                  ゲストティーチャー派遣件数 延べ11回35人                  通訳・翻訳 年間15回(英語、中国語、ポルトガル語、タイ語など)                  日本語学習会「いろはクラブ」開催件数 年間915回                  国際交流活動助成 5団体に計18万円を助成</p> <p>&lt;平成23年度&gt;                  会員数500人、ボランティア登録人数延べ180人(年度末見込み)                  国際理解講演会 11月開催予定(講師交渉中)                  日本語学習会「いろはクラブ」開催件数 年間1000回(見込み)                  国際交流活動助成 4団体計16万円を助成予定</p>							

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				23年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	0.08	アルバイト	0.00
21決算	8,776	10,800	19,576	0	0	0	19,576	再任用	0.00	その他	0.00
22決算	8,605	3,240	11,845	0	0	0	11,845	任期付	0.00	合計	0.08
23当初予算	9,917	680	10,597	0	0	0	10,597				

22年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	23年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	旅費	出張旅費	26			報償費	通訳謝礼
需用費	消耗品等	139		旅費	出張旅費	114	
委託料	国際交流推進事業委託	8,400		需用費	消耗品等	180	
負担金補助及び交付金	年会費、研修参加費	40		役務費	文書翻訳料	68	
				委託料	国際交流促進事業委託	9,400	
				その他		115	
	合計		8,605		合計		9,917

整理番号	2005024	事務事業名	国際交流推進事業
------	---------	-------	----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	21年度	22年度	23年度見込み
	国際交流協会会員数	国際交流についての市民への啓発が進むことにより、国際交流協会の会員数が増える。	人	524人	483人	500人
	国際交流協会ボランティア活動実績	多文化共生社会が進むにつれて、国際交流協会の基幹事業である日本語学習会「いろはクラブ」をはじめとするボランティアの活動が活発になる。	回	979回	915回	1000回
<p align="center"><b>指標で表せない成果</b></p> 市民の国際交流に対する理解を深めることで、地球上には様々な国や地域、民族があり、多様な考え方を持つ人々がそれぞれの価値観に基づいて暮らしていることを理解し、お互いに尊重していこうという多文化共生社会の考え方が普及している。						

事業の評価（所管課評価）	項目	評価	説明
	必要性	高い	国際化、ポータル化が著しい現代社会において、在住外国人を含む諸外国の人々との交流を推進し相互理解を深めることは市民にとって非常に重要なことであり、行政としては多文化共生社会づくりや地域国際化に向けた取り組みを積極的に進める必要がある。
	有効性	やや高い	・各種講演会や交流会を開催し、国際理解の浸透や多文化共生社会の実現に向けた事業を進めている。 ・在住外国人を対象とした事業として、日本語学習会「いろはクラブ」を開催しているほか、日本文化を体験できるイベントを開き、参加を呼びかけている。
	効率性	高い	明石市国際交流協会への業務委託によって各種の国際交流事業を実施しており、効率化を図っている。
評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性（所管課方針）	項目	判断	説明				
	事業の規模	維持	多文化共生社会の実現に向けて、今後も幅広い国際交流事業を展開する。				
	手法の改善	軽微な改善	国際交流協会の運営に会員がさらに自主的にかかわり、活発に活動を進めていけるよう、ボランティア育成に向けた検討を進める。				
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止      手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止						
<p align="center"><b>今後の事業展開方針</b></p> 今後、市民の意見をより一層反映させながら、多文化共生・地域国際化の推進に努める。							
平成24年度の具体的改善内容（事業費増減要因等）		24年度予算事業費増減見込（千円）					
		対23年度当初予算比	合計	財源内訳			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源
		削減見込	0	0	0	0	0
		増加見込	0	0	0	0	0
		差引 +	0	0	0	0	

「平成24年度の具体的改善内容」「24年度予算事業費増減見込」は、平成23年8月末時点の見込みであり今後変更があり得ます。

平成23年度 事務事業点検シート

事務事業名	諸外国との交流事業		新規/継続	継続事業	整理番号	2005025		
			分割/統合					
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容					
	款	総務費	事業所管課	文化芸術部文化振興課				
	項	総務管理費	連絡先	(078)918-5607				
	目	文化振興・国際交流費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 19 年度		
	事業	国際交流事業	根拠法令・要綱等					
第5次長総の戦略の柱展開の方向	2 自立した温かい地域コミュニティをつくる		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 補助・助成	<input type="checkbox"/> その他		
個別計画	2-3 認め合う開かれた地域をつくる			<input checked="" type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 指定管理			

事業の目的	対象（誰を・何を）	市民
	意図（どういう状態にしたいのか）	姉妹都市・友好都市提携先以外の諸外国との国際交流を推進し、市民の国際理解を深める。

事業内容	<平成21年度>	・ヤクーツク歌劇場関係者の受入 受入人数：4人 期間：平成21年8月20日～23日（4日間） 内容：コンサートのため来明した関係者の受入
	<平成22年度>	執行なし
	<平成23年度>	・諸外国からの訪問団の受入 受入人数：5人程度 時期、期間：未定（4日間程度） 内容：未定

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				23年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	0.01	アルバイト	0.00
21決算	240	2,700	2,940	0	0	0	2,940	再任用	0.00	その他	0.00
22決算	0	1,350	1,350	0	0	0	1,350	任期付	0.00	合計	0.01
23当初予算	540	85	625	0	0	0	625				

22年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	23年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
					報償費	通訳謝礼	110
					需用費	消耗品等	120
					委託料	受入事業委託	290
					使用料及び賃借料	ホテル使用料	20
	合計		0		合計		540



整理番号	2005025	事務事業名	諸外国との交流事業
------	---------	-------	-----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	21年度	22年度	23年度見込み
	指標で表せない成果					
諸外国との交流を進めることにより、市民の国際交流への理解が深まっている。						

事業の評価（所管課評価）	項目	評価	説明
	必要性	やや高い	市民の国際交流についての理解を深め、多文化共生社会を推進する取り組みは、グローバル社会を迎えた現代において行政に求められる施策の一つである。諸外国の都市等から交流希望があった場合に受け入れ等の対応をすることは、地域国際化を進めるうえで有意義であり、国際儀礼の観点からも市として実施する必要性が高い事業である。
	有効性	やや高い	諸外国からの訪問団受け入れや派遣を進めることは、市民が国際交流への理解を深める効果的な方法である。
	効率性	やや高い	受け入れについては明石市国際交流協会に手配を委託するなどにより、経費節減に努めている。
評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性（所管課方針）	項目	判断	説明				
	事業の規模	維持	現状通り進める。				
	手法の改善	軽微な改善	受け入れ業務の委託内容の精査を進め、より効率的な実施を図る。				
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止      手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止						
今後の事業展開方針							
国際的な儀礼を逸しないことを前提に、今後も訪問団受け入れにかかる経費の削減を検討していく。							
平成24年度の具体的改善内容（事業費増減要因等）		24年度予算事業費増減見込（千円）					
		対23年度当初予算比	合計	財源内訳			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源
		削減見込	0	0	0	0	0
		増加見込	0	0	0	0	0
		差引 +	0	0	0	0	

「平成24年度の具体的改善内容」「24年度予算事業費増減見込」は、平成23年8月末時点の見込みであり今後変更があり得ます。



平成23年度 事務事業点検シート

事務事業名		サハ高等音楽院青少年派遣事業	新規/継続	継続事業	整理番号	2005026
			分割/統合			
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容			
	款	総務費	事業所管課	文化芸術部文化振興課		
	項	総務管理費	連絡先	(078)918-5607		
	目	文化振興・国際交流費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 22 年度
	事業	国際交流事業	根拠法令・要綱等	音楽を通じた連携協力の覚書		
第5次長総の戦略の柱展開の方向	5 一人ひとりの成長を支える		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理		
	5-3 幅広い世代の意欲を育む					
個別計画						

事業の目的	対象（誰を・何を）	明石市内在住・在学等の高校生以下の青少年
	意図（どういう状態にしたいのか）	サハ高等音楽院へ次代を担う青少年を派遣し、専門の指導者からの高いレベルの指導や異文化を直接体験する機会を供することにより、音楽のあふれるまちづくりの一層の推進を図るとともに音楽を通じた国際交流を進める。

事業内容	<平成22年度> 派遣人数：5人 対象：市内在住、在学等の高校生以下の青少年 時期：平成23年3月27日～4月3日（8日間） 費用負担等：参加する青少年は実費を負担 内容：専門の指導者からの音楽指導、サハ共和国ヤクーツ市内の視察および異文化体験、寮生活等を通じた現地の青少年との交流事業
	<平成23年度> 実施予定なし

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				23年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	アルバイト	その他	
21決算	0	0	0	0	0	0	0	正規	0.06	アルバイト	0.00
22決算	1,484	3,690	5,174	0	0	0	5,174	再任用	0.00	その他	0.00
23当初予算	1,780	510	2,290	0	0	0	2,290	任期付	0.00	合計	0.06

22年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	23年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報償費	通訳謝礼	208			報償費	通訳謝礼
旅費	訪露旅費(引率者分)	1,081		旅費	訪露旅費(引率者分)	1,100	
役務費	文書翻訳料	11		役務費	海外専用携帯電話通話料	30	
委託料	派遣準備委託	184		委託料	派遣事業委託	400	
	合計		1,484		合計		1,780

整理番号	2005026	事務事業名	サ八高等音楽院青少年派遣事業
------	---------	-------	----------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	21年度	22年度	23年度見込み
	指標で表せない成果					

音楽院で専門の指導者から高いレベルの指導を受けた青少年が、音楽のあふれるまちづくりに向けた活動や音楽を通じた国際交流を進めている。

事業の評価（所管課評価）	項目	評価	説明
	必要性	やや低い	サ八高等音楽院への青少年派遣については、音楽院の指導が特定の楽器に限られていることから派遣対象となる中高生も非常に限定され、また受入可能時期が3月末～4月初旬の1週間のみでそのうち往復に4日間かかることなどを考えると、市が実施する必要性が高いとはいえ、市は、希望者と音楽院との橋渡しの役割を担うこと程度にとどめるべきである。
	有効性	やや高い	専門の指導者からの高いレベルの指導や異文化を直接体験する機会を供することは、青少年の音楽レベルの向上や国際感覚の醸成を図る効果的な手法であるといえる。
	効率性	低い	・参加者への補助をおこなってならず、最小限の経費で派遣事業を実施していることに合わせ、事業を明石市国際交流協会に委託して効率的な実施を図っている。 ・現地の受け入れ態勢の関係で少人数の派遣しかできないが、青少年の派遣人数にかかわらず、引率者3人(市職員、音楽教諭、ロシア語通訳)の同行が必要であることから、効率性は著しく低い。

評価：高い・やや高い・やや低い・低い

今後の事業の方向性（所管課方針）	項目	判断	説明
	事業の規模	休廃止	事業の有効性はやや高いといえるが、大きなコストと労力を費やして市が実施しなければならない事業であるとはいえない。
	手法の改善	休廃止	事業の有効性はやや高いといえるが、大きなコストと労力を費やして市が実施しなければならない事業であるとはいえない。
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止      手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止		

今後の事業展開方針

平成23年度より本事業を廃止する。

平成24年度の具体的改善内容（事業費増減要因等）	24年度予算事業費増減見込（千円）					
	対23年度当初予算比	合計	財源内訳			一般財源
国・県支出金			地方債	その他特定財源		
事業廃止	削減見込	-1,780	0	0	0	-1,780
	増加見込	0	0	0	0	0
	差引 +	-1,780	0	0	0	-1,780

「平成24年度の具体的改善内容」「24年度予算事業費増減見込」は、平成23年8月末時点の見込みであり今後変更があり得ます。

平成23年度 事務事業点検シート

事務事業名		文化博物館運営事業	新規/継続	継続事業	整理番号	2005027
			分割/統合			
関連 予算 科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容			
	款	総務費	事業所管課	文化芸術部文化振興課		
	項	総務管理費	連絡先	(078)918-5608		
	目	文化博物館費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 3 年度
	事業	文化博物館運営事業	根拠法令・要綱等	明石市立文化博物館条例・明石市立文化博物館条例施行規則		
第5次長総の戦略の柱展開の方向		3 明石らしい生活文化を育てる 3-2 スポーツや文化芸術、歴史に親しめる環境をつくる	実施方法			
個別計画		文化芸術創生基本計画	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理			

事業の目的	対象(誰を・何を)	明石市立文化博物館
	意図(どういう状態にしたいのか)	明石の歴史や民俗等に対する市民の理解を深めるために当該資料の収集・展示を進めるとともに、質の高い文化・芸術の提供と鑑賞機会の拡充を図り、さらに発表の場を積極的に提供する施設として、円滑な運営及び管理を行う。

事業内容	事業の目的のために、展覧会事業、貸館業務、施設維持管理業務、その他の業務を行う。 市と指定管理者は、適正な管理・運営を図るため定例協議を行う。 平成21年度 月例12回 四半期4回 年度1回 平成22年度 月例12回 四半期4回 年度1回 平成23年度見込みも同様 指定管理者による展覧会事業の実施 平成21年度 特別展3回、企画展2回、企画展5回、小さな展覧会3回、観覧者数51,460人 平成22年度 特別展3回、特別企画展2回、企画展4回、共催展1回、観覧者数67,535人 平成23年度見込み 特別展3回、特別企画展1回、企画展4回、共催展1回 観覧者数76,600人 指定管理者による貸館事業 平成21年度 ギャラリー(17件、利用率98.2%、稼働率96.2%、利用者数22,345人)、会議室(31件、利用率55.7%、稼働率39.1%、利用者数1,319人) 平成22年度 ギャラリー(18件、利用率94.1%、稼働率87.2%、利用者数20,133人)、会議室(29件、利用率40.5%、稼働率25.9%、利用者数1,501人) 指定管理者による施設維持管理業務の実施 平成21年度 修繕39件 平成22年度 修繕48件 指定管理者による広報誌「文化博物館ニュース」の発行 平成21年度 8,000部 平成22年度 8,000部 平成23年度見込みも同様 指定管理者による博物館資料の整備 資料購入数 平成21年度 3点 平成22年度 2点 寄贈資料の受け入れ 平成21年度 15件335点 平成22年度 9件60点 学校観覧数(小・中学校) 平成21年度 71校 平成22年度 71校 ボランティア育成事業 平成21年度 登録人数 63人 活動延べ人数 915人 平成22年度 登録人数 69人 活動延べ人数 689人
------	--

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				23年度人員配置(人)					
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	1.30	アルバイト	0.00	再任用	0.20
21決算	164,150	8,420	172,570	0	0	256	172,314	任期付	0.00	合計	1.50		
22決算	157,871	12,400	170,271	0	0	280	169,991						
23当初予算	160,470	11,730	172,200	0	0	1,387	170,813						

区分(節)	内容	金額	23年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
				旅費	指定管理者選定委員会の委員旅費	10
				需用費	指定管理者選定委員会の開催に伴う消耗品費	30
				需用費	ハロゲン消火設備の改修に伴う修繕料	5,000
				委託料	指定管理料	155,000
				その他	選定委員会会場使用料 50 ホータブル音響システム購入 120	170
合計		157,871		合計		160,470

整理番号	2005027	事務事業名	文化博物館運営事業
------	---------	-------	-----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	21年度	22年度	23年度見込み
	展覧会観覧者数	質の高い文化・芸術の提供と鑑賞機会の拡充を測る指標として設定する。	人	51,460	67,535	76,600
<b>指標で表せない成果</b>						
<p>・明石の歴史や明石にゆかりのある作家の展覧会を実施することにより、郷土への理解を深めることに貢献している。また、質の高い展覧会を実施することで、生活や創造活動への活力を生み出している。</p> <p>・学校観覧では、本物を見ることで、児童・生徒が学習の理解を深め、新たな興味を抱く場として利用されている。</p> <p>・ボランティア活動では、来館者の満足度を高めると共に、世代間交流やボランティア自身の自己実現の場としても機能している。</p>						

事業の評価（所管課評価）	項目	評価	説明
	必要性	高い	・明石市立文化博物館条例、第5次長期総合計画及び明石文化芸術創生基本計画に基づき、明石の歴史や民俗等に対する市民の理解を深めるために当該資料の収集・展示を進めるとともに、質の高い文化・芸術の提供と鑑賞機会の拡充を図り、さらに発表の場を積極的に提供する施設として、市が事業を実施していく必要がある。
	有効性	やや高い	・指定管理者制度を導入することにより、開館時間の延長などの市民サービスの向上が図られている。 ・展覧会は年間計画どおりに開催され、明石の歴史や文化の展示、優れた芸術の鑑賞の場を提供できている。 ・指定管理者の専門性を活かし、広報手段の拡充が図られている。 ・継続的な、明石の歴史や文化に関する調査・研究や学術資料の整理・保管、人材育成に関して検討が必要である。
	効率性	高い	・施設の管理・運営を指定管理者に委ねることにより、民間活力の導入が図られている。 ・指定管理者から日、月、四半期、年度の報告を受け、市と指定管理者が定期及び随時の協議の場所を持ち、市が指導及び監督を行うことで、より適正な管理・運営を行っている。 ・展覧会観覧料のほか、ギャラリー、大会議室、駐車場の利用者に対し、適正な使用料の負担を求めている。
評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性（所管課方針）	項目	判断	説明																											
	事業の規模	維持	・市として質の高い文化・芸術の提供と鑑賞機会の拡充を図っていくことは必要であり、指定管理者制度の導入によっても、同様のサービス等が提供されていることもあり、必要性が高く、有効性もやや高い当事業は現状どりの規模で継続する必要がある。																											
	手法の改善	維持	・指定管理者制度を導入して4年が経過するが、現時点では、有効性に関して、継続的な明石の歴史や文化に関する調査・研究、学術資料の整理・保管、人材育成が問題なく行われていくと結論が出せず、今後も検証していく必要がある。																											
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止      手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止																													
<b>今後の事業展開方針</b>																														
・文化博物館の運営に関しては、指定管理者による管理・運営を今後も検証していきながら、市民サービスの向上や優れた芸術鑑賞の場の提供に努めていく。																														
平成24年度の具体的改善内容（事業費増減要因等）		24年度予算事業費増減見込（千円）																												
・ハロゲン消火設備修繕料の減 5,000千円 ・ポータブル音響設備購入費用の減 120千円 ・非常灯用バッテリー取り替えによる増 4,057千円		対23年度当初予算比	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">合計</th> <th colspan="4">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>国・県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他特定財源</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>削減見込</td> <td>-5,120</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>-5,120</td> </tr> <tr> <td>増加見込</td> <td>4,057</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>4,057</td> </tr> <tr> <td>差引 +</td> <td>-1,063</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>-1,063</td> </tr> </tbody> </table>	合計	財源内訳				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	削減見込	-5,120	0	0	0	-5,120	増加見込	4,057	0	0	0	4,057	差引 +	-1,063	0	0	0	-1,063
合計	財源内訳																													
	国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源																										
削減見込	-5,120	0	0	0	-5,120																									
増加見込	4,057	0	0	0	4,057																									
差引 +	-1,063	0	0	0	-1,063																									

「平成24年度の具体的改善内容」「24年度予算事業費増減見込」は、平成23年8月末時点の見込みであり今後変更があり得ます。

平成23年度 事務事業点検シート

事務事業名		文化博物館施設整備事業	新規/継続	継続事業	整理番号	2005028	
			分割/統合				
			事業の分割/統合の内容				
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課	文化芸術部文化振興課			
	款	総務費	連絡先	(078)918-5608			
	項	総務管理費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 3 年度	
	目	文化博物館費	根拠法令・要綱等	明石市立文化博物館条例・明石市立文化博物館条例施行規則			
第5次長総の戦略の柱展開の方向	事業	文化博物館施設整備事業	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理			
	個別計画	文化芸術創生基本計画					
第5次長総の戦略の柱展開の方向		3 明石らしい生活文化を育てる					
		3-2 スポーツや文化芸術、歴史に親しめる環境をつくる					

事業の目的	対象（誰を・何を）	明石市立文化博物館					
	意図（どういう状態にしたいのか）	破損、劣化した施設・設備の改修、更新を行い、施設・設備の安全で効率的な運用を図る。					

事業内容	文化博物館施設・設備の整備						
	<平成21年度> 屋上防水改修工事 経年劣化している屋上防水の改修を行うとともに、劣化が顕著である金属屋根及びコンクリート梁塗装の改修を行った。 工事請負費 8,658千円						
	<平成22年度> 屋外サイン設置委託 現在の館名表示は、壁面スモークガラス内部に白色ネオンを設置しており、夜間はよく見えるが日中は見えにくいいため、新たな屋外サインを設置した。 委託料 3,990千円						
	<平成23年度見込み> 空調設備改修工事設計委託 館の建築後、空調設備の更新をしておらず、また市有建築物の中長期保全計画においても熱源更新の時期となっているため、空調設備冷熱源改修工事の設計を行なう。 委託料 2,300千円(予算額) 2,048千円(契約額)  電話交換機設備更新 不具合を部品交換により解消したが、機器の製造年が古く今後部品の調達が困難であるため、館の運営・業務に支障が出ないよう電話交換機設備を更新する。 備品購入費1,500千円(予算額)						

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				23年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	アルバイト	再任用	その他
21決算	8,658	1,350	10,008	0	0	0	10,008	0.40	0.00	0.10	0.00
22決算	3,990	3,950	7,940	0	0	0	7,940	0.00	0.00	0.00	0.00
23当初予算	3,800	3,740	7,540	0	0	0	7,540	0.00	0.00	0.00	0.50

区分(節)	内容	金額	23年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
				備品購入費	電話交換機設備の更新	1,500
合計		3,990		合計		3,800



整理番号	2005028	事務事業名	文化博物館施設整備事業
------	---------	-------	-------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	21年度	22年度	23年度見込み
	指標で表せない成果					

・文化振興課と指定管理者で実施する施設の安全点検や営繕課と実施する市有建築物の定期巡回点検と連動して施設の不具合を極力少なくし、施設・設備の安全性を確保することができる。

事業の評価（所管課評価）	項目	評価	説明
	必要性	高い	・市民が利用するに際しては、施設・設備の安全性が確保されていなければならない、施設設置者として、効率的に改修・更新していくことは不可欠である。
	有効性	高い	・平成21年度の屋上防水の改修では、既存アスファルト防水の浮き、腫れ部分を撤去し補修することにより、防水機能を回復することができた。 ・平成22年度の屋外サインの設置では、建物の南面に屋外サインを設置することにより、日中もわかりやすくなり、市民サービスの向上に役立った。
	効率性	高い	・日常の維持管理に伴う軽微な修繕は、指定管理者が実施している。一方、中長期的な改修計画に基づく大規模な施設・設備の改修については、設置者である市が、市の契約入札制度に基づき実施しており、効率的な施設の維持管理と経費の縮減を図っている。

評価：高い・やや高い・やや低い・低い

今後の事業の方向性（所管課方針）	項目	判断	説明
	事業の規模	維持	・必要性、有効性ともに高く、施設・設備の安全性及び機能性を確保し、市民に良好な文化芸術の鑑賞機会の提供や活動を行う場の充実のためには当事業は現在の規模を維持する必要がある。
	手法の改善	維持	・今後も引き続き、施設・設備の中長期的な改修・更新を効率的に行っていく必要がある。
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止      手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止		

**今後の事業展開方針**

・文化博物館の施設整備に関しては、指定管理者制度による管理・運営というものを今後も検証しながら、施設・設備の安全で効率的な改修・更新を進めていく。  
・開館から20年が経過し、建物の老朽化に対する中長期的な改修をする必要があるが、展示に関しては、常設展示室のリニューアルについて検討していく必要がある。

平成24年度の具体的改善内容（事業費増減要因等）	24年度予算事業費増減見込（千円）					
	対23年度当初予算比	合計	財源内訳			
			国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源
・空調設備改修工事設計委託の減 2,300千円 ・電話交換機設備更新の減 1,500千円  空調設備改修工事による増の見込みあり。						
	削減見込	-3,800	0	0	0	-3,800
	増加見込	0	0	0	0	0
	差引 +	-3,800	0	0	0	-3,800

「平成24年度の具体的改善内容」「24年度予算事業費増減見込」は、平成23年8月末時点の見込みであり今後変更があり得ます。

# 平成23年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	市民会館運営事業		新規/継続	継続事業	整理番号	2005029
			分割/統合			
<b>関連予算科目</b>	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容			
	款	総務費				
	項	総務管理費				
	目	市民会館費				
	事業	市民会館運営事業				
<b>第5次長総の戦略の柱展開の方向</b>	3 明石らしい生活文化を育てる		事業所管課	文化芸術部文化振興課		
	3-2 スポーツや文化芸術、歴史に親しめる環境をつくる		連絡先	(078)918-5608		
<b>個別計画</b>	文化芸術創生基本計画		自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 46 年度
<b>根拠法令・要綱等</b>	明石市立市民会館条例・同条例施行規則・明石市立西部市民会館条例・同条例施行規則・明石市立公会堂条例・同条例施行規則・明石市立市民ホール条例・同条例施行規則		実施方法			
			<input type="checkbox"/> 委託	<input checked="" type="checkbox"/> 指定管理		

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>					
	明石市立市民会館、明石市立西部市民会館、明石市立中崎公会堂、明石市立市民ホール（以下、「市民会館等」という。）					
<b>事業の目的</b>	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>					
	市民の福祉の増進を図り、文化の向上に寄与するため、市民ニーズに沿った古典から現代に至る多彩で質の高い文化・芸術の鑑賞及び発表の場を積極的に提供する施設として、円滑な運営及び管理を行う。					

<b>事業内容</b>	事業の目的のために、貸館業務、自主事業、施設維持管理業務、その他の業務を行う。					
	<p>市と指定管理者は、適正な管理・運営を図るため定例協議を行う。                  平成21年度 月例12回 四半期4回 年度1回 平成22年度 月例12回 四半期4回 年度1回 平成23年度見込みも同様                  指定管理者による貸館事業の実施                  平成21年度 市民会館(1,537件、利用率62.4%、稼働率46.8%、利用者数209,145人)                                    西部市民会館(742件、利用率69.8%、稼働率54.9%、利用者数68,401人)                                    中崎公会堂(964件、利用率87.1%、稼働率61.4%、利用者数25,816人)                                    市民ホール(335件、利用率85.4%、稼働率42.0%、利用者数19,202人)                                    市民会館 H22年1月13日～H22年3月17日の間、大・中ホール音響、照明改修工事のため休止                  平成22年度 市民会館(1,632件、利用率63.1%、稼働率45.0%、利用者数233,993人)                                    西部市民会館(719件、利用率72.1%、稼働率57.9%、利用者数64,011人)                                    中崎公会堂(894件、利用率83.3%、稼働率55.9%、利用者数25,063人)                                    市民ホール(347件、利用率88.4%、稼働率43.8%、利用者数19,969人)</p> <p>指定管理者による自主事業の実施                  平成21年度 25公演38ステージ開催 観覧者数21,455人 平成22年度 30公演50ステージ開催 観覧者数34,975人                  平成23年度計画 23+ 公演 41+ ステージ</p> <p>指定管理者による施設維持管理業務の実施                  平成21年度 修繕52件(市民会館 31件、西部市民会館 19件、中崎公会堂 2件)                  平成22年度 修繕51件(市民会館 28件、西部市民会館 17件、中崎公会堂 6件)</p> <p>その他の業務                  平成21年度 広報紙「しおさい」の発行 96,000部、友の会(379人15団体)、第九合唱団(215人)の育成等の実施                  平成22年度 広報紙「しおさい」の発行 96,000部、友の会(384人17団体)、第九合唱団(207人)の育成等の実施                  平成23年度見込みも同様</p>					

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				23年度人員配置(人)		
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	アルバイト	その他
21決算	165,252	8,580	173,832	0	0	0	173,832	0.90	0.00	0.00
22決算	164,189	10,200	174,389	0	0	0	174,389	0.60	0.00	0.00
23当初予算	165,170	9,690	174,860	0	0	1,088	173,772	0.00	0.00	1.50

22年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	23年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	委託料	指定管理料	163,926			報償費	指定管理者選定委員会の委員謝礼
負担金補助及び交付金	電波障害世帯のケーブルテレビ化	263		旅費	指定管理者選定委員会の委員旅費	20	
				需用費	指定管理者選定委員会の開催に伴う消耗品費	50	
				委託料	指定管理料	164,560	
				使用料及び賃借料	指定管理者選定委員会の開催に伴う会場使用料	60	
	合計	164,189			合計	165,170	



整理番号	2005029	事務事業名	市民会館運営事業
------	---------	-------	----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	21年度	22年度	23年度見込み
	4施設の利用者数	芸術・文化の発表の場としての指標として設定する。	人	322,564	343,036	340,000
	自主事業の入場者数	市民ニーズに沿った多彩で質の高い文化・芸術の鑑賞機会の拡充を測る指標として設定する。	人	21,455	34,975	30,000
<b>指標で表せない成果</b> ・平成22年度、市内26小学校6年生対象に劇団四季「こころの劇場」へ無料招待し、質の高い芸術鑑賞の機会を提供できたことや、一般市民対象の舞台技術講座の開催など、市民参加育成事業を実施した。						

事業の評価（所管課評価）	項目	評価	説明
	必要性	高い	・明石市立市民会館条例、明石市立西部市民会館条例、明石市立公会堂条例、明石市立市民ホール条例、第5次長期総合計画及び明石文化芸術創生基本計画に基づき、市民の福祉の増進を図り、文化の向上に寄与するため、市民ニーズに沿った古典から現代に至る多彩で質の高い文化・芸術の鑑賞及び発表の場を積極的に提供する施設として、市が事業を実施していく必要がある。
	有効性	高い	・指定管理者制度を導入することにより、利用者ニーズに合わせた開館時間等の柔軟な運用や使用日1ヶ月をきり10日までの申し込みを受け付けるなど、市民サービスの向上が図られている。 ・自主事業は、大型公演を多く企画し、市民に質の高い芸術鑑賞の機会を提供できている。 ・貸館としての施設利用状況では、さらに利用促進を図る必要のある施設もあるが、概ね発表の場の提供について役割を果たしている。
	効率性	高い	・施設の管理・運営を指定管理者に委ねることにより、民間活力の導入と経費の縮減が図られている。 ・指定管理者から日、月、四半期、年度の報告を受け、市と指定管理者が定期及び随時の協議の場を持ち、市が指導及び監督を行なうことで、より適正な管理・運営を行っている。 ・自主事業公演入場料のほか、ホール等の使用にあたっては、利用者に対し、適正な使用料の負担を求めている。
評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性（所管課方針）	項目	判断	説明
	事業の規模	維持	・市として、質の高い文化・芸術の鑑賞及び発表の場を積極的に提供していくことは必要であり、指定管理者制度の導入によっても、同様のサービス等が提供されていることもあり、必要性・有効性とも高い当事業は現状どおりの規模で継続する必要がある。
	手法の改善	維持	・指定管理者制度を導入して2期目5年が経過し、効率性では一定の効果があげられているが、有効性については、制度を今後も検証していく必要がある。
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止		
<b>今後の事業展開方針</b> ・市民会館の運営に関しては、指定管理者による管理・運営を今後も検証していきながら、市民サービスの向上や質の高い芸術鑑賞の機会の提供に努めていく。			
平成24年度の具体的改善内容（事業費増減要因等）		24年度予算事業費増減見込（千円）	
	対23年度当初予算比	合計	財源内訳
			国・県支出金 地方債 その他特定財源 一般財源
	削減見込	0	0 0 0 0
	増加見込	0	0 0 0 0
	差引 +	0	0 0 0 0

「平成24年度の具体的改善内容」「24年度予算事業費増減見込」は、平成23年8月末時点の見込みであり今後変更があり得ます。



整理番号	2005030	事務事業名	市民会館施設整備事業
------	---------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	21年度	22年度	23年度見込み
	指標で表せない成果					

・文化振興課と指定管理者で実施する施設の安全点検や営繕課と実施する市有建築物の定期巡回点検と連動して施設の不具合を極力少なくし、施設・設備の安全性を確保することができる。

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	高い	・市民が利用するに際しては、施設・設備の安全性が確保されていなければならない、施設設置者として、効率的に改修・更新していくことは不可欠である。
	有効性	高い	・平成21年度の市民会館音響・照明設備の改修では、機器の更新及びデジタル回線に変更することにより、安全性及び機能性を向上し、多様な舞台環境の提供を可能にした。 ・平成22年度の西部市民会館ガス吸収式冷温水機分解整備工事では、分解整備を行うことにより、不測の緊急停止などを防止するとともに、設備の延命を図ることができた。
	効率性	高い	・日常の維持管理に伴う軽微な修繕は、指定管理者が実施している。一方、中長期的な改修計画に基づく大規模な施設・設備の改修については、設置者である市が、市の契約入札制度に基づき実施しており、効率的な施設の維持管理と経費の縮減を図っている。

評価：高い・やや高い・やや低い・低い

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明
	事業の規模	維持	・必要性、有効性ともに高く、施設・設備の安全性及び機能性を確保し、市民に良好な文化芸術の鑑賞機会の提供や活動を行う場の充実のためには当事業は現在の規模を維持する必要がある。
	手法の改善	維持	・今後も引き続き、施設・設備の中長期的な改修・更新を効率的に行っていく必要がある。

事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止

手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止

### 今後の事業展開方針

・市民会館の施設整備に関しては、指定管理者制度による管理・運営というものを今後も検証しながら、施設・設備の安全で効率的な改修・更新を進めていく。  
・開館から40年が経過し、建物の老朽化に対する中長期的な改修をする必要がある。大ホール及び中ホールの空調設備の熱源に関しては、市役所本庁舎から冷温水の供給を受けて対応しているが、その供給温度が十分ではないため、本庁舎の機能及び施設改修の考え方を見据えながら、安定した冷水・温水の供給について検討していく必要がある。

### 平成24年度の具体的改善内容（事業費増減要因等）

・市民会館外壁改修工事(西面・北面)の減 35,000千円  
市民会館外壁改修工事(東面・南面)による増の見込みあり

### 24年度予算事業費増減見込（千円）

対23年度当初予算比	合計	財源内訳			
		国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源
削減見込	-35,000	0	-35,000	0	0
増加見込	0	0	0	0	0
差引 +	-35,000	0	-35,000	0	0

「平成24年度の具体的改善内容」「24年度予算事業費増減見込」は、平成23年8月末時点の見込みであり今後変更があり得ます。



整理番号	2005031	事務事業名	子ども・親子対象芸術鑑賞事業
------	---------	-------	----------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	21年度	22年度	23年度見込み
	指標で表せない成果					
<p>普段、芸術鑑賞の機会が乏しい子育て世代の方を対象に子どもとともに参加できる鑑賞会を開催し誰もが芸術に触れ親しむ機会の拡充を図れる。</p> <p>昨年試行実施した乳児とともに鑑賞するクラシック音楽会(BMM)では、「赤ちゃんが泣いても、周りや演奏者に遠慮せずに音楽を鑑賞できた」と大変好評を得た。</p>						

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性		
	有効性		
	効率性		
評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明				
	事業の規模						
	手法の改善						
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止      手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止						
	今後の事業展開方針						
平成24年度の具体的改善内容（事業費増減要因等）		24年度予算事業費増減見込（千円）					
		対23年度当初予算比	合計	財源内訳			
		削減見込	0	国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源
		増加見込	579	0	0	0	579
		差引 +	579	0	0	0	579

「平成24年度の具体的改善内容」「24年度予算事業費増減見込」は、平成23年8月末時点の見込みであり今後変更があり得ます。



整理番号	2005032	事務事業名	舞台芸術鑑賞事業			
------	---------	-------	----------	--	--	--

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	21年度	22年度	23年度見込み
	指標で表せない成果					

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性		
	有効性		
	効率性		
評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明				
	事業の規模						
	手法の改善						
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止      手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止						
	今後の事業展開方針						
平成24年度の具体的改善内容（事業費増減要因等）		24年度予算事業費増減見込（千円）					
		対23年度当初予算比	合計	財源内訳			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源
		削減見込	0	0	0	0	0
		増加見込	4,186	0	0	2,930	1,256
		差引 +	4,186	0	0	2,930	1,256

「平成24年度の具体的改善内容」「24年度予算事業費増減見込」は、平成23年8月末時点の見込みであり今後変更があり得ます。



平成23年度 事務事業点検シート

事務事業名		佐渡裕指揮 兵庫芸術文化センター管弦楽団公演	新規/継続	H22廃止済	整理番号	2005033
関連予算科目		会計 一般会計 款 総務費 項 総務管理費 目 文化振興・国際交流費 事業 文化芸術振興事業	分割/統合			
第5次長総の戦略の柱展開の方向			事業の分割/統合の内容			
個別計画			事業所管課	文化芸術部文化振興課		
			連絡先	(078)918-5607		
			自治/法定	自治事務	開始年度	平成 18 年度
			根拠法令・要綱等	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例		
			実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理		

事業の目的	対象（誰を・何を）	市民
	意図（どういう状態にしたいのか）	「音楽のあふれるまちづくり」をさらに推進し、市民に質の高い音楽の観賞機会を提供する。

事業内容	<平成20年度>	世界的な指揮者の佐渡裕氏指揮による兵庫芸術文化センター管弦楽団による音楽公演と、子どもたちに音楽の楽しさを伝えるため、佐渡裕氏が小学校を訪問し音楽指導を実施。 1月12日(月・祝) 市民会館大ホールで公演。同日に大観小学校で訪問指導。
	<平成21年度>	世界的な指揮者の佐渡裕氏指揮による兵庫芸術文化センター管弦楽団による音楽公演と、子どもたちに音楽の楽しさを伝えるため、佐渡裕氏が小学校を訪問し音楽指導を実施。 9月16日(水) 市民会館大ホールで公演。同日に藤江小学校で訪問指導。
	<平成22年度>	世界的な指揮者の佐渡裕氏指揮による兵庫芸術文化センター管弦楽団による音楽公演と、子どもたちに音楽の楽しさを伝えるため、佐渡裕氏が小学校を訪問し音楽指導を実施。 1月15日(土) 市民会館大ホールで公演。同日に谷八木小学校で訪問指導。

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				23年度人員配置(人)		
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	アルバイト	その他
21決算	6,821	2,880	9,701	0	0	2,832	6,869	正規		
22決算	5,345	3,240	8,585	0	0	4,789	3,796	再任用		その他
23当初予算								任期付		合計

22年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	23年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報償費	司会謝礼、託児謝礼	16				
需用費	印刷費(チラシ、ポスター、プログラム、チケット)、消耗品費	265					
役務費	チケット販売手数料、舞台人件費、託児保険料	389					
委託料	公演委託、警備委託	4,477					
使用料及び賃借料	会場使用料	198					
	合計	5,345			合計		

整理番号	2005033	事務事業名	佐渡裕指揮 兵庫芸術文化センター管弦楽団公演
------	---------	-------	------------------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	21年度	22年度	23年度見込み
<b>指標で表せない成果</b>						
平成14年度から世界的な指揮者・佐渡氏による質の高い音楽を鑑賞する機会を市民に提供し続けている。佐渡氏は音楽により、明石を元気づけようとしたのがきっかけで、明石に特別な思いを持って下さっており、明石市と佐渡氏とのつながりはしっかりと形成されてきている。また、小学校で特別授業を行うアウトリーチ活動も、子どもたちや教師に好評を得ており、子どもたちが音楽に親しみ、楽しむきっかけづくりにもなっている。						

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	平成23年度は休止	
	有効性		
	効率性		
評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明				
	事業の規模	平成23年度は休止					
	手法の改善						
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止      手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止			<b>今後の事業展開方針</b>			
平成23年度については、佐渡氏のスケジュールがとれなかったため休止、平成24年度は4月に開催予定(新規)							
平成24年度の具体的改善内容(事業費増減要因等)		24年度予算事業費増減見込(千円)					
		対23年度当初予算比	合計	財源内訳			
		削減見込		国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源
		増加見込					
		差引 +					

「平成24年度の具体的改善内容」「24年度予算事業費増減見込」は、平成23年8月末時点の見込みであり、今後変更があり得ます。



整理番号	2005034	事務事業名	子ども・親子対象音楽事業
------	---------	-------	--------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	21年度	22年度	23年度見込み
	入場者	音楽会参加人数	人	186	422	
指標で表せない成果						

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性		平成22年度限りで廃止
	有効性		
	効率性		
評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明				
	事業の規模		平成22年度限りで廃止				
	手法の改善						
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止		手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止				
今後の事業展開方針							
平成23年度は、西部市民会館の自主事業として位置づけたため廃止。平成24年度からは、音楽だけに限定せず、芸術全般を対象とした「子ども・親子対象芸術鑑賞事業(新規)」として実施する。							
平成24年度の具体的改善内容(事業費増減要因等)		24年度予算事業費増減見込(千円)					
		対23年度当初予算比	合計	財源内訳			
		削減見込		国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源
		増加見込					
		差引 +					

「平成24年度の具体的改善内容」「24年度予算事業費増減見込」は、平成23年8月末時点の見込みであり、今後変更があり得ます。



整理番号	2005035	事務事業名	吹奏楽の夕べ開催事業
------	---------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	21年度	22年度	23年度見込み
	指標で表せない成果					
昭和35年から継続開催し、今年で51回目を迎える本事業は、市民に音楽によるうおいとやすらぎを与え、明石の夏の風物詩として定着している。						

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	平成22年度限りで廃止(芸術祭等開催事業と統合)	
	有効性		
	効率性		
評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明				
	事業の規模	平成22年度限りで廃止(芸術祭等開催事業と統合)					
	手法の改善						
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止		手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止				
	今後の事業展開方針						
	平成22年度限りで廃止(芸術祭等開催事業と統合)						
平成24年度の具体的改善内容(事業費増減要因等)		24年度予算事業費増減見込(千円)					
		対23年度当初予算比	合計	財源内訳			
		削減見込		国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源
		増加見込					
		差引 +					

「平成24年度の具体的改善内容」「24年度予算事業費増減見込」は、平成23年8月末時点の見込みであり、今後変更があり得ます。





整理番号	2005036	事務事業名	東播磨文化団体連合会との共催事業
------	---------	-------	------------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	21年度	22年度	23年度見込み
	指標で表せない成果					

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	平成22年度限りで廃止	
	有効性		
	効率性		
評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明				
	事業の規模	平成22年度限りで廃止					
	手法の改善						
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止			手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止			
	今後の事業展開方針						
	東播磨地域で順番に持ち回りで開催しており、平成23年度については本市での開催の予定がなかった。						
平成24年度の具体的改善内容（事業費増減要因等）		24年度予算事業費増減見込（千円）					
		対23年度当初予算比	合計	財源内訳			
		削減見込		国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源
		増加見込					
		差引 +					

「平成24年度の具体的改善内容」「24年度予算事業費増減見込」は、平成23年8月末時点の見込みであり、今後変更があり得ます。



整理番号	2005037	事務事業名	能舞台活用事業
------	---------	-------	---------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	21年度	22年度	23年度見込み
<b>指標で表せない成果</b> 明石薪能で組み立てた能舞台を有効活用し、市民に文化芸術の鑑賞機会を提供できている。						

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性		平成22年度限りで廃止
	有効性		
	効率性		
評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明				
	事業の規模		平成22年度限りで廃止				
	手法の改善						
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止		手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止				
今後の事業展開方針							
平成22年度限りで廃止							
平成24年度の具体的改善内容（事業費増減要因等）		24年度予算事業費増減見込（千円）					
		対23年度当初予算比	合計	財源内訳			
		削減見込		国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源
		増加見込					
		差引 +					

「平成24年度の具体的改善内容」「24年度予算事業費増減見込」は、平成23年8月末時点の見込みであり、今後変更があり得ます。

## 平成23年度 事務事業点検シート

事務事業名		生涯学習センター運営事業		新規/継続	継続事業	整理番号	2015001	
				分割/統合				
関連 予算 科目	会計	一般会計		事業の分割/ 統合の内容				
	款	総務費		事業所管課	文化芸術部生涯学習センター			
	項	総務管理費		連絡先	(078)918-5600			
	目	生涯学習センター費		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 14 年度	
	事業	生涯学習センター運営事業		根拠法令 ・要綱等	明石市生涯学習センター条例、同施行規則			
第5次長総の 戦略の柱 展開の方向		3 明石らしい生活文化を育てる 3-2 スポーツや文化芸術、歴史に親しめる環境をつくる		実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 補助・助成	<input type="checkbox"/> その他
個別計画		明石市生涯学習ビジョン				<input checked="" type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	

事業の 目的	対象（誰を・何を）	
	生涯学習センター（男女共同参画センター・消費者センター・子育てプレイルーム・子ども図書館除く）	
意図（どういう状態にしたいのか）		
多くの市民が生涯学習に取り組み、市民による学習活動、文化活動、市民活動などが活発に行われるよう、使いやすい貸し館運営を行い、提供するサービスを充実させる。		

事業 内容	<平成21年度>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習センター貸し館運営</li> <li>・学習室1(120人)、2(81人)、3(45人)、4(12人)、パソコン室(25人)、調理実習室(25人)、工芸室(25人)、茶室和室(29人)、ホール(293人)の貸し館を行った。件数 5,629件、平均利用率 64.0%、利用者数 84,039人</li> <li>学習情報の提供</li> <li>・学習情報誌「わらしのわ」を発行した(年4回、5000部)。</li> <li>・生涯学習センターホームページにて貸し館の状況や企画事業の情報提供を行った。</li> <li>・学習情報コーナーにて、書籍・DVD・インターネットの閲覧サービスを行った。</li> <li>生涯学習センター運営委員会</li> <li>・生涯学習センターの運営について広く意見を求めるため、運営委員会を2回開催した。</li> </ul>
	<平成22年度> 下記変更以外は平成21年度とほぼ同じ
	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習センター貸し館運営</li> <li>・利用拡大を図るため、使用料の一部値下げ(ホール、和室、音楽練習室2)や直前割引使用料の設定のほか、新たにリハーサルスタジオの新規貸出を行った。また、ホールのネーミングを募集(「子午線ホール」に決定)し、更なるPRに努めた。</li> <li>・調理実習室にパンこね器や発酵器を新たに設置したほか、携帯用補聴器誘導システムを導入するなど利用者のサービス向上を図った。</li> <li>・利用件数 6,783件、平均利用率 69.5%、利用者数 102,191人</li> <li>生涯学習センター運営委員会</li> <li>・明石市生涯学習推進プラン策定に向け、運営委員会を3回開催。</li> </ul>
	<平成23年度>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習センター貸し館運営</li> <li>・貸ロッカーを設置しセンター利用者のサービス向上を図る。</li> <li>・利用者の更なる利便性向上を図るため、インターネット施設予約システム導入に向けた検討を行う。</li> <li>生涯学習センター運営委員会</li> <li>・明石市生涯学習推進プランの進捗状況について意見を求めるため運営委員会を2回開催予定。</li> <li>センターHPリニューアル</li> <li>・市民が学習活動を行う場や学習機会の情報をより効果的に提供するためセンターHPのリニューアルを検討する。</li> </ul>

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				23年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
21決算	14,982	26,420	41,402	0	0	21,392	20,010	正規	2.00	アルバイト	0.00
22決算	15,437	24,650	40,087	0	0	0	40,087	再任用	0.20	その他	0.80
23当初予算	15,837	25,770	41,607	0	0	14,789	26,818	任期付	2.90	合計	5.90

	区分(節)	内容	金額		区分(節)	内容	金額
需用費	消耗品費(事務用品等)舞台用電球・学習情報誌・パンフレット等	3,689	需用費	消耗品費(事務用品等)舞台用電球・学習情報誌・パンフレット等	3,340		
役務費	ホール用人件費・ピアノ調律代 学習室5インターネット回線費	300	役務費	ホール用人件費・ピアノ調律代 学習室5インターネット回線費	710		
委託料	舞台操作・舞台吊物・ホール調光保守	6,266	委託料	舞台操作・舞台吊物・ホール調光保守	6,647		
使用料及び賃借料	パソコン室機器賃借、公用車駐 車場借り上げ料	3,621	使用料及び賃借料	パソコン室機器賃借、公用車駐 車場借り上げ料	3,880		
その他	旅費、備品購入費等	1,235	その他	旅費、備品購入費等	875		
合計			15,437	合計			15,837

整理番号	2015001	事務事業名	生涯学習センター運営事業
------	---------	-------	--------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	21年度	22年度	23年度見込み
	稼働率	貸し館の年間使用率 (年間使用数/年間使用可能数)	%	44.4	49.1	50.0
	利用者数	貸し館の年間利用者数	人	84,039	102,191	110,000
指標で表せない成果						
センターの利用による学習活動や文化活動等を通じ市民の学習意欲(機会)の高まりや市民間の繋がりや職成に貢献している。						

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	やや高い	・生涯学習センターは、本市における生涯学習振興の中心的な役割を担っており、市が主体となって運営する必要がある。 ・市民ニーズが多様化し生涯学習の機会提供等の充実が求められている中、市民の生涯学習活動をより一層支援するため拠点施設である生涯学習センターの機能強化を図る必要がある。
	有効性	やや高い	・平成20年度を境に利用状況が伸び悩んでいたことから、平成22年4月に使用料の値下げ(ホール、和室、音楽練習室)を行った結果、平成22年度は対前年度比で利用件数、利用者数それぞれ約20%の増加となった。
	効率性	やや高い	・ホールの舞台操作業務など多くの業務で競争入札を行うなど経費削減に向けた取り組みを進めているほか、窓口受付業務をオンラインシステムで運用するなど効率的な業務運営に努めている。 ・条例・規則に定める使用料の徴収により、適切な利用者負担が行われている。
評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明				
	事業の規模	維持	市の生涯学習振興の観点から直営で事業を行う必要性がある。また、平成20年度を境に利用が伸び悩みの状況にあったことから、平成22年4月に施設利用料の値下げ等貸し館利用のサービス向上を図った結果、対前年度比で利用者数、稼働率とも増加傾向となっており、現在の事業規模を維持し更なる利用促進を目指す。				
	手法の改善	維持	事務事業の見直しや競争入札による業務委託を実施するなど効率化の取り組みを行ってきており改善の余地は少ない。				
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止      手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止						
今後の事業展開方針							
・平成22年4月実施の施設使用料改定について更なるPRを行い貸し館の利用促進を図るとともに利用者等の意見を十分反映しながら、生涯学習支援の充実に努める。 ・インターネットの利用が急速に普及する中、利用者の更なる利便性向上や貸し館の利用促進を図るため、インターネットによる施設予約システムの導入のほか、市民に学習機会等の情報をより効果的に提供するためセンターホームページの再構築について検討を進める。							
平成24年度の具体的改善内容(事業費増減要因等)		24年度予算事業費増減見込(千円)					
・備品購入費(長尺プリンター： 500千円)		対23年度当初予算比	合計	財源内訳			
		削減見込	-500	国・県支出金	0	0	0
		増加見込	0	地方債	0	0	0
		差引 +	-500	その他特定財源	0	0	-500
		一般財源					

「平成24年度の具体的改善内容」「24年度予算事業費増減見込」は、平成23年8月末時点の見込みであり今後変更があり得ます。



平成23年度 事務事業点検シート

事務事業名		分室運営事業	新規/継続	継続事業	整理番号	2015002	
			分割/統合				
			事業の分割/統合の内容				
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課	文化芸術部生涯学習センター			
	款	総務費	連絡先	(078)918-5600			
	項	総務管理費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 14 年度	
	目	生涯学習センター費	根拠法令・要綱等	明石市生涯学習センター条例、同施行規則			
	事業	生涯学習センター運営事業	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 補助・助成	<input type="checkbox"/> その他	
第5次長総の戦略の柱展開の方向	3 明石らしい生活文化を育てる 3-2 スポーツや文化芸術、歴史に親しめる環境をつくる		<input type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 指定管理			
個別計画	明石市生涯学習ビジョン						

事業の目的	対象(誰を・何を)	生涯学習センター分室					
	意図(どういう状態にしたいのか)	分室において多くの市民が生涯学習に取り組み市民による学習活動、文化活動、市民活動などが活発に行われるよう、施設設備の状態を良好に保ち、使いやすい貸し館運営を行う。					

事業内容	<平成21年度> 貸し館運営 ・大会議室(250人)、和室(50人)、実習室(30人)、研修室(35人)、視聴覚室(35人)、小会議室(20人)の貸し館運営を行った。 学習活動の支援 ・登録サークルに活動場所を提供するなどの学習支援を行った。 、を合わせた利用件数等 延件数2,999件、延人数52,084人 修繕 ・和室改修(畳表替え等)
	<平成22年度> 貸し館運営 学習活動の支援 、を合わせた利用件数等 延件数2,957件、延人数51,262人 修繕 ・机3台入替え ・大会議室音響機器(マイク、CDデッキ)修理
	<平成23年度> 貸し館運営 学習活動の支援 、を合わせた利用件数等 延件数815件、延人数13,723人(H23.4~6月) 修繕 ・大会議室扉フランス落とし取り換え

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				23年度人員配置(人)		
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	アルバイト	その他
21決算	693	7,600	8,293	0	0	377	7,916	0.40	0.00	
22決算	940	6,950	7,890	0	0	0	7,890	0.10	5.00	
23当初予算	1,260	25,000	26,260	0	0	1,260	25,000	0.10	5.60	

区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
需用費	消耗品(事務用品等) 大会議室パネル修理他一式	668	需用費	消耗品(事務用品等) 実習室床材張替修繕一式	890
役務費	電信電話料・ピアノ調律代	72	役務費	電信電話料・ピアノ調律代	139
使用料及び賃借料	コピー使用料	50	使用料及び賃借料	コピー使用料	80
備品購入費	会議机等	150	備品購入費	会議机等	151
合計		940	合計		1,260

整理番号	2015002	事務事業名	分室運営事業
------	---------	-------	--------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	21年度	22年度	23年度見込み
	利用者数	年間利用者数	人	52,084	51,262	52,000
<b>指標で表せない成果</b>						
分室の利用による学習活動や文化活動等を通じ市民の学習意欲(機会)の高まりや市民間の繋がり醸成に貢献している。						

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	やや高い	・生涯学習センター分室は、本市における生涯学習振興の役割を担っており、市が主体となって運営する必要がある。 ・社会経済情勢の変化に伴い、市民ニーズも多様化し生涯学習の機会提供等の充実が求められている中、市民の生涯学習活動を支援するため、分室の存続は必要である。
	有効性	やや高い	分室については、登録サークルの利用が大半であり、利用料金の収入増はあまり見込めないものの、活発なサークル活動が展開されており、有効活用されている。
	効率性	やや高い	分室は、臨時事務員による受付業務のみ行っており、必要最小限のコストで運営している。
評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明								
	事業の規模	維持	市が主体となって運営する必要性が高いとともに、登録サークルによる活発な活動が行われていることから、現状どおりの規模で継続して行う必要がある。								
	手法の改善	維持	・施設の老朽化が進む中においても、必要最小限の修繕で対応していることから、事業費削減の余地は少ない。 ・教育委員会において、市立図書館の耐震工事が計画されていることから、分室の運営について調整する必要がある。								
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止      手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止										
<b>今後の事業展開方針</b>											
分室の管理・運営について、利用者等の意見を十分反映しながら生涯学習支援の充実に努める。											
平成24年度の具体的改善内容(事業費増減要因等)		24年度予算事業費増減見込(千円)									
・備品購入費の削減(傘立て: 12千円)		対23年度当初予算比	合計	財源内訳							
		削減見込	-12	国・県支出金	0	地方債	0	その他特定財源	-12	一般財源	0
		増加見込	0	0	0	0	0	0			
		差引 +	-12	0	0	-12	0				

「平成24年度の具体的改善内容」「24年度予算事業費増減見込」は、平成23年8月末時点の見込みであり今後変更があり得ます。

平成23年度 事務事業点検シート

事務事業名		フロアコンサート	新規/継続	継続事業	整理番号	2015003	
			分割/統合				
			事業の分割/統合の内容				
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課	文化芸術部生涯学習センター			
	款	総務費	連絡先	(078)918-5600			
	項	総務管理費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 17 年度	
	目	生涯学習センター費	根拠法令・要綱等	明石市生涯学習センター条例、同条例施行規則			
	事業	生涯学習センター運営事業	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 補助・助成	<input type="checkbox"/> その他	
第5次長総の戦略の柱展開の方向	3 明石らしい生活文化を育てる 3-2 スポーツや文化芸術、歴史に親しめる環境をつくる		<input type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 指定管理			
個別計画	明石市生涯学習ビジョン						

事業の目的	対象(誰を・何を)	<対象(誰を・何を)> (1)市民等 (2)生涯学習センター					
	意図(どういう状態にしたいのか)	<意図(どういう状態にしたいのか)> (1)多くの市民に良質な音楽を聴く機会を提供する。 (2)定期的にフロアコンサートを開催することにより、生涯学習センターの認知度を上げる。					
	事業内容	主に明石にゆかりがあるプロの演奏家によるミニコンサート「ときのまちの小さな音楽会」を月1回、生涯学習センターのフロア(子ども図書館)、またはホールで開催する。 <平成20年度> 年間12回開催 観客:延べ1853名  <平成21年度> 年間12回開催 観客:延べ2020名  <平成22年度> 年間11回開催 観客:延べ1355名  <平成23年度予定> 年間12回開催予定(年1回ホールで開催) 観客:延べ1700名(見込)					

事業内容	主に明石にゆかりがあるプロの演奏家によるミニコンサート「ときのまちの小さな音楽会」を月1回、生涯学習センターのフロア(子ども図書館)、またはホールで開催する。 <平成20年度> 年間12回開催 観客:延べ1853名  <平成21年度> 年間12回開催 観客:延べ2020名  <平成22年度> 年間11回開催 観客:延べ1355名  <平成23年度予定> 年間12回開催予定(年1回ホールで開催) 観客:延べ1700名(見込)						
------	--	--	--	--	--	--	--

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				23年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	0.60	アルバイト	0.00
21決算	841	6,040	6,881	0	0	0	6,881	再任用	0.30	その他	0.00
22決算	665	6,720	7,385	0	0	0	7,385	任期付	0.10	合計	1.00
23当初予算	889	6,380	7,269	0	0	0	7,269				

区分(節)	内容	金額	23年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額	
							22年度決算事業費明細
	役務費	グランドピアノ調律、舞台操作人件費	79		需用費	ホール舞台用花束・消耗品・飲料水等	27
	使用料及び賃借料	音楽著作権物演奏使用料	16		役務費	グランドピアノ調律代・舞台操作人件費	138
					使用料及び賃借料	音楽著作権演奏使用料	24
	合計		665		合計		889

整理番号	2015003	事務事業名	フロアコンサート
------	---------	-------	----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	21年度	22年度	23年度見込み
	観客数	各回観客数の合計		人	2020	1,355
指標で表せない成果						
生涯学習センターの認知度アップ。明石ゆかりの音楽家のPR。						

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	やや高い	「多くの市民に良質な音楽を聴く機会を提供する」ことは、大きな意味では「生涯学習の振興」に繋がる。また、施設の認知度を上げるという目的は施設の利用率アップにも繋がるため、妥当であると思われる。
	有効性	やや高い	月1回無料で音楽を楽しむことができるイベントとして定着し、生涯学習センターの認知度も上がった点は評価できる。
	効率性	やや低い	生涯学習センターのフロアを使い身近に良質な音楽が聴けるコンサートを開催するところに意義があるが、平成22年4月に料金改定を行ったホールをPRするため、ホールでの開催も検討する。
評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明				
	事業の規模	維持	年間12回開催の事業規模を維持する。				
	手法の改善	維持	年11回を子ども図書館で、年1回をホールで開催する。				
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止      手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止						
今後の事業展開方針							
<ul style="list-style-type: none"> <li>新たな明石ゆかりの音楽家の発掘し、音楽のジャンルを広げる。</li> <li>生涯学習センターの認知度アップのため、ホームページなどでのフロアコンサートのPRを強化する。</li> </ul>							
平成24年度の具体的改善内容（事業費増減要因等）		24年度予算事業費増減見込（千円）					
		対23年度当初予算比	合計	財源内訳			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源
		削減見込	0	0	0	0	0
		増加見込	0	0	0	0	0
差引 +		0	0	0	0	0	

「平成24年度の具体的改善内容」「24年度予算事業費増減見込」は、平成23年8月末時点の見込みであり今後変更があり得ます。

## 平成23年度 事務事業点検シート

事務事業名		視聴覚ライブラリー運営事業		新規/継続	継続事業	整理番号	2015004	
				分割/統合				
関連 予算 科目 目	会計	一般会計		事業の分割/ 統合の内容				
	款	総務費		事業所管課	文化芸術部生涯学習センター			
	項	総務管理費		連絡先	(078)918-5600			
	目	生涯学習センター費		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 14 年度	
	事業	生涯学習センター運営事業		根拠法令 ・要綱等	明石市生涯学習センター条例、同施行規則			
第5次長総の 戦略の柱 展開の方向		3 明石らしい生活文化を育てる 3-2 スポーツや文化芸術、歴史に親しめる環境をつくる		実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 補助・助成	<input type="checkbox"/> その他
個別計画		明石市生涯学習ビジョン				<input type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	

事業の 目的	対象（誰を・何を）	生涯学習センターが保有する視聴覚教材、機材
	意図（どういう状態にしたいのか）	市民の多様な学習需要に応えるため、視聴覚教材を充実させ、機材を整備し、利用しやすい環境をつくる。

事業 内容	<平成21年度>	教材、機材の貸し出し ・幼稚園や子ども会、自治会などに16ミリフィルムやビデオ教材、及びプロジェクターやスクリーンなど機材の貸し出しを行った。 年間貸し出し件数 教材102件(学校:56件、その他:46件)、機材26件(学校:9件、その他:17件) ・教材の新規購入（ビデオ 2本・DVD 13本を購入） コンテンツ、教材等の作成 ・市歌の録音を行いCDを制作(300枚)
	<平成22年度>	教材、機材の貸し出し ・教材97件(学校:44件、その他:53件)、機材43件(学校:7件、その他:36件) ・教材の新規購入（ビデオ 2本・DVD 35本を購入）
	<平成23年度>	教材、機材の貸し出し及び教材の新規購入

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				23年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	アルバイト	再任用	その他
21決算	1,127	2,520	3,647	0	0	0	3,647	0.10	0.00	0.10	0.00
22決算	1,079	419	1,498	0	0	0	1,498	0.10	0.00	0.10	0.00
23当初予算	998	1,259	2,257	0	0	0	2,257	0.00	0.00	0.30	0.00

区分(節)	内容	金額	23年度 当初 予算 事業 費 明 細	区分(節)	内容	金額
需用費	消耗品費(ビデオ教材購入費等)	996	23年度 当初 予算 事業 費 明 細	需用費	消耗品費(ビデオ教材購入費等) 視聴覚機材補修	820
役務費	教材搬送用袋クリーニング	3		役務費	教材搬送用袋クリーニング	8
備品購入費	貸出用視聴覚機器購入費	80		備品購入費	貸出用視聴覚機器購入費	170
合計		1,079		合計		998

整理番号	2015004	事務事業名	視聴覚ライブラリー運営事業			
------	---------	-------	---------------	--	--	--

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	21年度	22年度	23年度見込み
	貸出件数	教材(DVD、ビデオ等)の年間貸出件数	件	102	97	100
	指標で表せない成果					

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	やや低い	社会教育、学校教育へのAV情報の提供は、視聴覚学習の普及振興に寄与するものではあるが、貸出業務については利用が低迷している状況にある。
	有効性	やや低い	利用者が固定化されており、利用も伸び悩みの状況にある。
	効率性	やや低い	利用が伸び悩んでいる状況にあるものの相当の経費を要しており費用対効果の観点からも見直しが必要である。
評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明								
	事業の規模	縮小	利用率の伸び悩みや映写機等の老朽化が進む中、維持管理コストと比較して必要性や有効性が低い事業であり縮小を検討する必要がある。								
	手法の改善	抜本的改善	利用者が固定化されており、利用も伸び悩みの状況にあることから、新規購入の縮小等検討する必要がある。								
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止      手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止										
今後の事業展開方針											
教材等の新規購入を縮小する。											
平成24年度の具体的改善内容（事業費増減要因等）		24年度予算事業費増減見込（千円）									
・備品購入費(DVDプレイヤー-他 170千円)		対23年度当初予算比	合計	財源内訳							
		削減見込	-170	国・県支出金	0	地方債	0	その他特定財源	0	一般財源	-170
		増加見込	0	0	0	0	0	0			
		差引 +	-170	0	0	0	0	-170			

「平成24年度の具体的改善内容」「24年度予算事業費増減見込」は、平成23年8月末時点の見込みであり今後変更があり得ます。



# 平成23年度 事務事業点検シート

事務事業名		生涯学習センター維持管理事業		新規/継続	継続事業	整理番号	2015005	
				分割/統合				
関連 予算 科目	会計	一般会計		事業の分割/ 統合の内容				
	款	総務費		事業所管課	文化芸術部生涯学習センター			
	項	総務管理費		連絡先	(078)918-5600			
	目	生涯学習センター費		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 14 年度	
	事業	生涯学習センター維持管理事業		根拠法令 ・要綱等	生涯学習センター条例、同施行規則			
第5次長総の 戦略の柱 展開の方向		3 明石らしい生活文化を育てる 3-2 スポーツや文化芸術、歴史に親しめる環境をつくる		実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理		
個別計画		明石市生涯学習ビジョン						

事業の 目的	対象（誰を・何を）	生涯学習センターの施設・設備(アスピア明石北館の7階～10階部分、6209㎡。男女共同参画センター・消費者センター・子育てプレイルーム:子ども図書館含む)						
	意図（どういう状態にしたいのか）	市民がセンターを安全・快適に利用できるよう、また、職員が効率的に執務できるよう、センターの施設・設備の状態を良好に保つ。						

事業内容	<平成21年度>	保守・点検 ・中央監視盤、AVシステム、空調装置について、年1回の保守点検を実施した。 ・給水式冷温機(冷房)について、年2回の保守点検を実施した。 ・電話交換機、エアコン空調機について、月1回の保守点検を実施した。 修理・修繕 ・学習室3遮音工事、ネオンサイン看板改修、エルネットシステム撤去、蓄熱層タンク塗装工事等を実施。 ・21年度修理、修繕回数は29件 インフラ設備維持 ・電気・ガス・水道・館内イントラ回線・電話回線の供給を行った。 ・建物(アスピア)共用部分等の維持管理費を負担した。 清掃・・・年1回の定期清掃と302日の日常清掃を行った。 警備・・・開館日302日の夜間(16:30～22:30)の見回り警備と利用者案内を行った。 深夜(22:00～8:00)及び休館日の機械警備を行った。						
	<平成22年度>	下記変更以外は平成21年度とほぼ同じ 修理・修繕 ・視覚障害者用館内案内表示盤修繕、学習室5プロジェクター修繕、ネオンサイン看板改修、PAC空調機器修繕等24件。						
	<平成23年度>	下記変更以外は例年とほぼ同じ。 修理・修繕 ・空調インバーター圧縮機交換等作業、誘導灯更新工事、北館屋上設備機器箱体補修工事。						

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				23年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	1.10	アルバイト	0.00
21決算	76,886	10,050	86,936	0	0	234	86,702	再任用	0.50	その他	0.00
22決算	76,883	11,650	88,533	0	0	0	88,533	任期付	0.00	合計	1.60
23当初予算	86,153	11,050	97,203	0	0	7,363	89,840				

区分(節)	内容	金額	23年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
需用費	消耗品等(管球等)・施設設備修繕・ガス料金	6,233		需用費	消耗品等(管球等)・施設設備修繕・ガス料金	6,490
役務費	冷却塔水質検査費	71		役務費	冷却塔水質検査費	147
委託料	施設清掃・夜間警備・電話交換機等	19,486		委託料	施設清掃・夜間警備・電話交換機等	19,943
使用料及び賃借料	施設予約システムリース料・NHK・ケーブルTV利用料等	1,615		使用料及び賃借料	施設予約システムリース料・NHK・ケーブルTV利用料等	1,647
負担金補助及び交付金	アスピア明石管理費・インフォメーション経費・電気・水道料・修繕負担金	49,478		備品購入費	施設維持管理用備品一式 貸館用ロッカー	550
				負担金補助及び交付金	アスピア明石管理費・インフォメーション経費・電気・水道料・修繕負担金	57,376
合計		76,883		合計		86,153

整理番号	2015005	事務事業名	生涯学習センター維持管理事業
------	---------	-------	----------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	21年度	22年度	23年度見込み
	修繕件数	施設設備を安全・快適に供用するため年間修繕件数を指標とする。	件	29	24	30
	事故件数	設備の不具合による年間事故件数	件	0	0	0
<b>指標で表せない成果</b> 維持管理業務の一部を委託化することにより、業務の効率化(コストや職員の負担軽減)が図られている。						

事業の評価(所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	高い	<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習センターは、市の生涯学習推進の拠点施設であり、その維持管理については市が主体となって実施する必要がある。</li> <li>生涯学習センターを運営するうえで、施設設備を安全・快適に利用できるよう維持管理することは不可欠である。</li> </ul>
	有効性	高い	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設設備を安全・快適に供用するため、経年劣化による設備の維持管理を適切に実施する必要がある。</li> <li>設備の維持管理について、高度な専門性が求められる業務については、委託化を図るなど適正な維持管理に努めている。</li> <li>設備の不具合等による事故を未然に防止している。</li> </ul>
	効率性	やや高い	<ul style="list-style-type: none"> <li>当該事業に要する経費の65%は、区分所有者として負担義務を負う管理組合費(「アスピア明石」の全体共用部のメンテナンス経費)であり、コスト削減の余地は少ない。</li> <li>設備の保守点検業務等については、一部を除き競争入札により業者委託しており、効率的に行われている。</li> <li>今後、施設(H13完成)が老朽化するにつれ、維持管理経費の増加が想定される。</li> </ul>
評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性(所管課方針)	項目	判断	説明								
	事業の規模	維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要性、有効性とも高く、設備の維持管理という業務の性格から概ね現状どおりの規模で継続して行う必要がある。</li> <li>平成13年の竣工から10年を経過しており、今後、設備の老朽化による維持管理経費の増加が見込まれる。</li> </ul>								
	手法の改善	軽微な改善	事務経費の65%を管理組合費が占めており、コスト削減の余地は少ない状況ではあるが、今後、更なる経費節減を図るため、アスピア明石への負担金の積算根拠となる共用部分の保守・点検・修繕について、管理組合の中で、積極的なコスト削減について働きかけを行っていく。								
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止      手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止										
<b>今後の事業展開方針</b>											
<ul style="list-style-type: none"> <li>平成13年の竣工以来10年が経過しており経年劣化による利用環境の水準を低下させることなく安全・快適な施設供用を維持していく必要がある。</li> <li>上記に伴い今後、維持管理費用の増加が予想されるが、管理組合費について管理組合へのコスト削減の働きかけを行うなど更なる経費節減について検討を進める。</li> </ul>											
平成24年度の具体的改善内容(事業費増減要因等)		24年度予算事業費増減見込(千円)									
備品購入費(貸ロッカー) 350千円)		対23年度当初予算比	合計	財源内訳							
		削減見込	-350	国・県支出金	0	地方債	0	その他特定財源	0	一般財源	-350
		増加見込	0	0	0	0	0	0			
		差引 +	-350	0	0	0	0	-350			

「平成24年度の具体的改善内容」「24年度予算事業費増減見込」は、平成23年8月末時点の見込みであり今後変更があり得ます。

# 平成23年度 事務事業点検シート

事務事業名		生涯学習推進事業	新規/継続	継続事業	整理番号	2015006		
			分割/統合					
関連 予算 科目	会計	一般会計	事業の分割/ 統合の内容					
	款	総務費	事業所管課	文化芸術部生涯学習センター				
	項	総務管理費	連絡先	(078)918-5600				
	目	生涯学習センター費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 14 年度		
	事業	生涯学習推進事業	根拠法令 ・要綱等	明石市生涯学習センター条例、同施行規則				
第5次長総の 戦略の柱 展開の方向		3 明石らしい生活文化を育てる 3-2 スポーツや文化芸術、歴史に親しめる環境をつくる	実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 補助・助成	<input type="checkbox"/> その他	
個別計画		明石市生涯学習ビジョン			<input checked="" type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 指定管理		

事業の 目的	対象（誰を・何を）	市民
	意図（どういう状態にしたいのか）	市民がいつでも、どこでも、多種多様な生涯学習に取り組むことができる。

事業 内容	<平成20年度>	講座・イベント等の実施(生涯学習センター、分室、中学校区コミセンで開催) あかし楽講座(歴史講座等)...受講者のべ893名、ゆうゆう塾(市民企画講座)...受講者のべ575名、パソコン講座(民間企業に委託)...受講者のべ878名、市民セミナー(現代的課題を取り上げた講演会)...参加者のべ135名、スキルアップ社会人交流セミナー...参加者279名、ジュニアアカデミー...受講者のべ135名、レコーディング講座・舞台制作講座...受講者45名、シニアカレッジ...学生数104名、コミセン高齢者大学...学生数908名など、総受講者数5424名 生涯学習相談...年間相談件数149件 生涯学習指導者の育成...明石生涯学習指導者会の研修会を年2回開催 生涯学習ビジョンの策定...策定委員会で素案を検討
	<平成21年度>	講座・イベント等の実施(生涯学習センター、分室、中学校区コミセンで開催) あかし楽講座(歴史講座等)...受講者のべ1007名、ゆうゆう塾(市民企画講座)...受講者のべ1170名、パソコン講座(民間企業に委託)...受講者のべ933名、市民セミナー(現代的課題を取り上げた講演会)...参加者のべ310名、スキルアップ社会人交流セミナー...参加者のべ345名、ジュニアアカデミー...受講者のべ68名、レコーディング講座...受講者76名、シニアカレッジ...学生数116名、コミセン高齢者大学...学生数918名など、総受講者数7410名 生涯学習相談...年間相談件数149件 生涯学習指導者の育成...明石生涯学習指導者会創立15周年記念ステージ発表を開催、研修会を年2回開催 生涯学習ビジョンの策定...策定委員会で検討、パブリックコメントを経て、平成21年10月策定
	<平成22年度>	下記変更以外は21年度とほぼ同じ 講座・イベント等の実施 ・スキルアップ社会人交流セミナーを拡充...スペシャル講演会、セミナーを含めて全14回実施 生涯学習推進プランを策定...平成23年3月に策定
	<平成23年度予定>	下記変更以外は22年度とほぼ同じ 講座・イベント等の実施 ・スキルアップ社会人交流セミナーを拡充...他市町村との交流事業等で内容を充実 ・明石市生涯学習推進プランに設定する重点事業を実施

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				23年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	3.80	アルバイト	0.00
21決算	19,492	42,190	61,682	0	0	1,414	60,268	再任用	1.80	その他	0.10
22決算	20,287	43,899	64,186	0	0	0	64,186	任期付	0.90	合計	6.60
23当初予算	21,628	40,829	62,457	805	0	1,594	60,058				

区分(節)	内容	金額	23年度当初予算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額
報償費	講師等謝礼	4,864	23年度当初 予算 事業費 明細	報償費	講師等謝礼	5,530
需用費	チラシ・冊子等印刷代、用紙代、記録用DVD、講師用お茶など	1,225		需用費	チラシ・冊子等印刷代、用紙代、記録用DVD、講師用お茶など	1,073
役務費	チラシ等郵送料、保険料、舞台人件費等	345		役務費	舞台人件費・保険料	418
委託料	パソコン講座、シニアカレッジ、コミセン生涯学習事業委託料など	13,252		委託料	パソコン講座、シニアカレッジ、コミセン生涯学習事業委託料など	13,398
使用料及び賃借料	パス借上料、コピー使用料	314		使用料及び賃借料	パス借上料・会場使用料	1,070
その他	ビデオカメラ、デジタルカメラ購入 研修参加負担金	287		その他	液晶プロジェクタ等購入 研修参加負担金	139
合計		20,287		合計		21,628

整理番号	2015006	事務事業名	生涯学習推進事業
------	---------	-------	----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	21年度	22年度	23年度見込み
	講座受講者数等	講座の受講者数、講演会の参加者数等を集計	人	7,410	8,518	8,600
<b>指標で表せない成果</b>						
わくわくあかしインターネット教室で育成した市民の講師・サポーターは、当該インターネット教室のみならず、地域のIT化を進める原動力となりうる。また、市民企画型講座ゆうゆう塾は、市民が自分の特技・技能・知識を活かして何かをはじめのきっかけになっている。						

事業の評価（所管課評価）	項目	評価	説明
	必要性	高い	・第5次長期総合計画に定める「“ひと”に焦点を当てたまちづくり」を進めるためには、すべての世代に向けた生涯にわたる学びへの支援が不可欠であり、市が主体となって実施する必要性は認められる。 ・生涯学習の振興にかかわる施策の企画立案は本来市が行うべき業務である。
	有効性	高い	・ライフステージを意識した多彩な学習機会の提供が行われており、多くの市民が講座・イベントに参加している。 ・学習事業を通じ、市民同士の交流や、行政と市民・NPO・大学などとの参画と協働が進むことの意義は大きい。 ・地域の発展や、文化芸術の振興に結び付く学習事業が実施されていることの意義は大きい。 ・現在、こどもや若い社会人向けの事業展開も進めており一定の成果をあげているが、もっと若い世代にも役立つ事業を増やし、バランスの良い事業展開を図る必要がある。
	効率性	高い	・コミュニティーセンターにおける事業は、その地域（コミセン運営委員会）に事業委託し、また市民が自ら企画し実施する講座や、学識経験者からなるボランティアグループが企画する講座など、地域や市民が協力して事業の実施にあたっており、効率的な手法による事業実施を行っている。
評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性（所管課方針）	項目	判断	説明			
	事業の規模	維持	必要性、有効性、効率性ともに高い当事業は、概ね現状どおりの規模で継続して行う必要がある、			
	手法の改善	維持	市民、NPO、高等教育機関等、さまざまな生涯学習の担い手との連携をより強化し、内容の充実を図って行く必要がある。			
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止      手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止					
<b>今後の事業展開方針</b>						
明石市における生涯学習振興の基本理念・基本方針を示す「明石市生涯学習ビジョン」に基づいて策定した「明石市生涯学習推進プラン」に定める重点施策を実施して行くとともに、時代に応じた市民の学習ニーズに合致したのかどうかを常に検証しながら事業内容を見直す。						
平成24年度の具体的改善内容（事業費増減要因等）		24年度予算事業費増減見込（千円）				
・子育て創生事業補助金（単年度補助金）により拡充した「スキルアップ社会人交流セミナー」の事業規模を平成21年度レベルに戻すため 805千円	対23年度当初予算比	財源内訳				
	削減見込	合計	国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源
	増加見込	-805	-805	0	0	0
	差引 +	0	0	0	0	0
		-805	-805	0	0	0

「平成24年度の具体的改善内容」「24年度予算事業費増減見込」は、平成23年8月末時点の見込みであり今後変更があり得ます。



平成23年度 事務事業点検シート

事務事業名	あかねが丘学園運営事業		新規/継続	継続事業	整理番号	2020001
			分割/統合			
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容			
	款	総務費	事業所管課	文化芸術部あかねが丘学園		
	項	総務管理費	連絡先	(078)918-5415		
	目	あかねが丘学園費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 56 年度
	事業	あかねが丘学園運営事業	根拠法令・要綱等	明石市立高齢者大学校あかねが丘学園条例・明石市立高齢者大学校あかねが丘学園条例施行規則		
第5次長総の戦略の柱展開の方向	5 一人ひとりの成長を支える 5-3 幅広い世代の意欲を育む		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理		
個別計画	生涯学習ビジョン					

事業の目的	対象(誰を・何を)	明石市在住の60歳以上の人
	意図(どういう状態にしたいのか)	高齢者に教養の向上及び生きがいの創造を図るとともに地域社会活動の指導者ができるよう、良質な学習機会及び環境を整備する。

事業内容	<p>あかねが丘学園は、3年間の系統立てた学習プログラムのもとに、午前は共通講座、午後は専攻コースに分かれて学習を行い、地域活動の企画力やコーディネーションなどコミュニティづくりに必要な専門性と実践力を身につける。</p> <p>[平成20年度]</p> <p>本校 コース: 景観園芸・生活ふくし・ふるさとコミュニティ・音楽交流・健康スポーツ交流          学生数: 348人(1学年109人、2学年115人、3学年124人)          学習日: 月曜 クラブ活動、火曜 地域活動支援、水曜 3学年、木曜 2学年、金曜 1学年          地域活動支援日は、卒業生と在校生の地域活動を支援するための学習日で、公開講座、各種講習・講座などの実施と地域活動グループへの施設設備の開放と、相談・助言を行なっている。          ・その他、学生自治会、ボランティア会、委員会、クラブ活動、自主学習・自主活動グループなど活動している。          学習スケジュール: 授業は週1回、年間35日程度、午前: 共通講座(学年全体で受講)、午後: 専攻コース(各専攻コースで受講)          主な年間スケジュール: 4月入学式・始業式、10月体育祭、11月学園祭、2~3月次年度学生募集、3月卒業式・修了式</p> <p>[平成21年度]</p> <p>・事業内容は、平成20年度と同様に実施した。          学生数: 319人(1学年116人、2学年100人、3学年103人)</p> <p>[平成22年度]</p> <p>・事業内容は、平成20・21年度と同様に実施した。          学生数: 315人(1学年119人、2学年101人、3学年95人)</p> <p>[平成23年度]</p> <p>・事業内容は、平成20・21・22年度と同様に実施する。          学生数: 309人(1学年122人、2学年93人、3学年94人)</p>
------	---

事業のコスト (単位: 千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				23年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	0.50	アルバイト	0.00
21決算	21,645	9,800	31,445	0	0	5,833	25,612	再任用	0.10	その他	0.10
22決算	22,101	10,070	32,171	0	0	5,166	27,005	任期付	0.50	合計	1.20
23当初予算	23,733	6,160	29,893	0	0	6,269	23,624				

区分(節)	内容	金額	23年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
報償費	講師謝礼(共通講座、専攻コース)	9,029		報償費	講師謝礼(共通講座、専攻コース)	9,364
旅費	市内出張旅費、研修旅費	71		旅費	市内出張旅費、研修旅費	150
需用費	事務用品費、印刷製本費、光熱水費	2,295		需用費	事務用品費、印刷製本費、光熱水費	2,374
役務費	通信運搬費、ピアノ調律料	118		役務費	通信運搬費、ピアノ調律料	247
委託料	社会教育コーディネーター委託料	10,146		委託料	社会教育コーディネーター委託料	10,210
その他	コピー使用料、原材料費	442		その他		1,388
合計		22,101		合計		23,733

整理番号	2020001	事務事業名	あかねが丘学園運営事業
------	---------	-------	-------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	21年度	22年度	23年度見込み
	入学者数	各年度の1学年の入学者数	人数	116	119	122
	ボランティア実施状況	あかねが丘学園のボランティアグループのボランティア実施回数	回数	1655	1,466	1,500
<b>指標で表せない成果</b> ボランティア活動の依頼先は、高齢者施設、保育所、幼稚園、放課後児童クラブをはじめ市主催のイベント等多彩である。						

事業の評価（所管課評価）	項目	評価	説明
	必要性	高い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者に、より一層充実した学習の機会を提供し、有為な人材活用とその社会参加・社会貢献を図るため市の事業として重要である。</li> <li>・明石市第5次長期総合計画及び生涯学習ビジョン、生涯学習推進プランにも基づいて事業をすすめていくことは、これからの高齢化社会への対応のため重要なことである。</li> </ul>
	有効性	高い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業後、在学中からのグループで地域活動を本格的に実践するなど成果をあげている。</li> <li>・平成20年度 ボランティア登録者数：855人、グループ数：72、実施延べ人数：6999人</li> <li>・平成21年度 ボランティア登録者数：1027人、グループ数：79、実施延べ人数：8191人</li> <li>・平成22年度 ボランティア登録者数：1258人、グループ数：82、実施延べ人数：8866人</li> </ul>
	効率性	高い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コーディネーター業務は、すでに委託が実施されており、コスト削減と効率化が図られている。</li> <li>・現在の3年間の段階的な共通講座・専攻コースによる学習は、社会情勢の変化、時代のニーズに即応できる体制をとっている。</li> </ul>
評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性（所管課方針）	項目	判断	説明
	事業の規模	維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あかねが丘学園は、多彩な講師陣や多様なカリキュラムなど事業の目的に沿った市民のニーズに応える運営をしている。</li> <li>・卒業生、在校生による地域活動・ボランティア活動も盛んである。</li> </ul>
	手法の改善	軽微な改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学者数は横ばい状態であり、また定員に満たないため学生募集については、市民のニーズ等も研究し広報等の見直しもする必要がある。</li> </ul>
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止      手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止		
<b>今後の事業展開方針</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も、カリキュラムの見直し等、事業の目的に沿った市民のニーズに応える魅力ある運営をしていく。</li> <li>・卒業生、在校生による地域活動・ボランティア活動へのバックアップも充実させていく。</li> </ul>			
平成24年度の具体的改善内容（事業費増減要因等）		24年度予算事業費増減見込（千円）	
	対23年度当初予算比	合計	財源内訳
			国・県支出金    地方債    その他特定財源    一般財源
	削減見込	0	0    0    0    0
	増加見込	0	0    0    0    0
	差引 +	0	0    0    0    0

「平成24年度の具体的改善内容」「24年度予算事業費増減見込」は、平成23年8月末時点の見込みであり今後変更があり得ます。





整理番号	2020002	事務事業名	あかねが丘学園維持管理事業
------	---------	-------	---------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	21年度	22年度	23年度見込み
	指標で表せない成果					
	・日常及び定期など計画的な点検等で不具合が見つかった場合や修繕箇所が発生した場合、できるだけ速やかに対応するようにしている。					

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	高い	・本学園は明石市第5次長期総合計画及び生涯学習ビジョン、生涯学習推進プランにも基づいて事業を実施している施設で、その維持管理については市が主体となって実施する必要がある。 ・あかねが丘学園を運営する上で、施設・設備を快適に利用できるよう維持管理することは不可欠である。
	有効性	高い	・施設の老朽化は否めないが、施設・設備を適宜修繕しているので概ね良好に維持されている。 ・当学園の施設は朝霧コミセンや地域交流センターとしても利用されていて多くの市民に有効に利用されている。
	効率性	高い	・日常の清掃(剪定・草刈・グラウンド整備)は学生が実施するなど経費の節減に努めている。
評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明
	事業の規模	維持	・学園の施設・設備の維持管理は、学園の運営に必要不可欠なものである。
	手法の改善	維持	・施設・設備の維持管理は、利用実体にあった方法でできるよう検討する。(安全対策を重視した上での利用頻度に応じた施設・設備への経費等の集中)
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止      手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止		
	今後の事業展開方針		
	・今後も修繕については、不具合箇所の早期発見・早期修繕が経費の削減につながるので迅速な対応に努める。		
	平成24年度の具体的改善内容(事業費増減要因等)		24年度予算事業費増減見込(千円)
	対23年度当初予算比	合計	財源内訳
			国・県支出金   地方債   その他特定財源   一般財源
	削減見込	0	0   0   0   0
	増加見込	0	0   0   0   0
	差引 +	0	0   0   0   0

「平成24年度の具体的改善内容」「24年度予算事業費増減見込」は、平成23年8月末時点の見込みであり今後変更があり得ます。

平成23年度 事務事業点検シート

事務事業名		あかねが丘学園西分校運営事業	新規/継続	継続事業	整理番号	2020003
			分割/統合			
			事業の分割/統合の内容			
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課	文化芸術部あかねが丘学園		
	款	総務費	連絡先	(078)918-5415		
	項	総務管理費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 21 年度
	目	あかねが丘学園費	根拠法令・要綱等	明石市立高齢者大学校あかねが丘学園条例・明石市立高齢者大学校あかねが丘学園条例施行規則		
事業	あかねが丘学園西分校運営事業	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理			
第5次長総の戦略の柱展開の方向	5 一人ひとりの成長を支える 5-3 幅広い世代の意欲を育む					
個別計画	生涯学習ビジョン					

事業の目的	対象(誰を・何を)	明石市在住の60歳以上の人
	意図(どういう状態にしたいのか)	高齢者に教養の向上及び生きがいの創造を図るとともに地域社会活動の指導者ができるよう、良質な学習機会及び環境を整備する。

事業内容	<p>あかねが丘学園西分校は、2年間の系統立てた学習プログラムをもとに、午前は共通講座、午後は専攻コースに分かれて学習を行い、地域活動の企画力やコーディネーションなどコミュニティづくりに必要な専門性と実践力を身につける。 [平成21年度]</p> <p>分校 コース: 健康科学・陶芸文化          学生数: 51人(1学年のみ)          学習日: 火曜 1学年          学生自治会、ボランティア会、委員会、クラブ活動、自主学習・自主活動グループなど活動している。          学習スケジュール: 授業は週1回、年間35日程度、午前:共通講座(学年全体で受講)、午後:専攻コース(各専攻コースで受講)          主な年間スケジュール: 4月入学式・始業式、10月体育祭、11月学園祭、2~3月次年度学生募集、3月卒業式・修了式          [平成22年度]</p> <p>・事業内容は、平成21年度と同様に実施した。          学習日: 火曜 1学年、金曜 2学年          ・学生数: 85人(1学年40人、2学年45人)          [平成23年度]</p> <p>・事業内容は、平成21・22年度と同様に実施する。          ・学生数: 66人(1学年32人、2学年34人)</p>

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				23年度人員配置(人)		
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	アルバイト	その他
21決算	9,730	4,990	14,720	0	0	765	13,955	0.20	0.00	0.00
22決算	14,924	4,990	19,914	0	0	1,275	18,639	0.60	0.00	0.00
23当初予算	16,370	4,260	20,630	0	0	1,365	19,265	0.20	0.00	1.00

区分(節)	内容	金額	23年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
報償費	講師謝礼(共通講座、専攻コース)	3,371		報償費	講師謝礼(共通講座、専攻コース)	4,012
旅費	市内出張旅費	95		旅費	市内出張旅費	106
需用費	事務用品費、印刷製本費、光熱水費	622		需用費	事務用品費、印刷製本費、光熱水費	1,180
委託料	清掃・警備業務及び市民陶芸教室、社会教育コーディネーター委	3,608		役務費	通信運搬費	120
使用料及び賃借料	みなと記念ホール使用料等	6,872		委託料	清掃・警備業務及び市民陶芸教室、社会教育コーディネーター委	3,750
その他	通信運搬費、備品購入費	356		使用料及び賃借料	みなと記念ホール使用料等	7,202
合計		14,924		合計		16,370

整理番号	2020003	事務事業名	あかねが丘学園西分校運営事業
------	---------	-------	----------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	21年度	22年度	23年度見込み
	入学者数	各年度の1学年の入学者数	人数	51	40	32
指標で表せない成果						
今まで希望のあった西部地区でのあかねが丘学園西分校の開設。						

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	高い	・生涯学習意欲の高い高齢者に対して、より一層充実した学習の場を提供することにより、有為な人材の活用とその社会参加・社会貢献を図るため市の事業として重要である。 ・明石市第5次長期総合計画及び生涯学習ビジョン、生涯学習推進プランにも基づいて事業をすすめていくことは、これからの高齢化社会への対応のため重要なことである。
	有効性	高い	・二見・魚住地区の入学者が多く、地元の多くの高齢者に喜ばれている。 ・平成21年度の開校以来、円滑に実施されている。
	効率性	高い	・校舎をもたないで運営しているので非常に固定経費が低く抑えられている。 ・分校は2年制2コース(健康科学コース、陶芸文化コース)に限定したものになっている。 ・現在の2年間の段階的な共通講座・専攻コースによる学習は、社会情勢の変化、時代のニーズに即応できる体制をとっている。
評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明
	事業の規模	維持	・あかねが丘学園本校と同様、多彩な講師陣や多様なカリキュラムなど事業の目的に沿った運営をしている。
	手法の改善	軽微な改善	・開校3年目であるが入学者数の減少をおさえるため、本校同様学生募集の方法等の見直しを図る。
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止      手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止		
今後の事業展開方針			
・今後も、カリキュラムの見直し等、事業の目的に沿った市民のニーズに応える魅力ある運営をしていく。 ・卒業生、在校生による地域活動・ボランティア活動へのバックアップも充実させていく。			
平成24年度の具体的改善内容(事業費増減要因等)		24年度予算事業費増減見込(千円)	
	対23年度当初予算比	合計	財源内訳
	削減見込	0	国・県支出金    地方債    その他特定財源    一般財源
	増加見込	0	0    0    0    0
	差引 +	0	0    0    0    0

「平成24年度の具体的改善内容」「24年度予算事業費増減見込」は、平成23年8月末時点の見込みであり今後変更があり得ます。



整理番号	2020004	事務事業名	あかねが丘学園施設整備事業
------	---------	-------	---------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	21年度	22年度	23年度見込み
	指標で表せない成果					
<ul style="list-style-type: none"> <li>平成20年度:エレベーター設置、渡り廊下のバリアフリー化</li> <li>平成21年度:屋内運動場(体育館)耐震補強工事実施設計委託</li> <li>平成22年度:体育館2・3階部分改修工事実施設計委託</li> </ul>						

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	平成22年度限りで廃止	
	有効性		
	効率性		
評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明			
	事業の規模	平成22年度限りで廃止				
	手法の改善					
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止      手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止					
今後の事業展開方針						
平成22年度限りで廃止						
平成24年度の具体的改善内容（事業費増減要因等）		24年度予算事業費増減見込（千円）				
		対23年度 当初予算 比	合計	財源内訳		
				国・県 支出金	地方債	その他 特定財源
		削減見込				
		増加見込				
		差引 +				

「平成24年度の具体的改善内容」「24年度予算事業費増減見込」は、平成23年8月末時点の見込みであり、今後変更があり得ます。